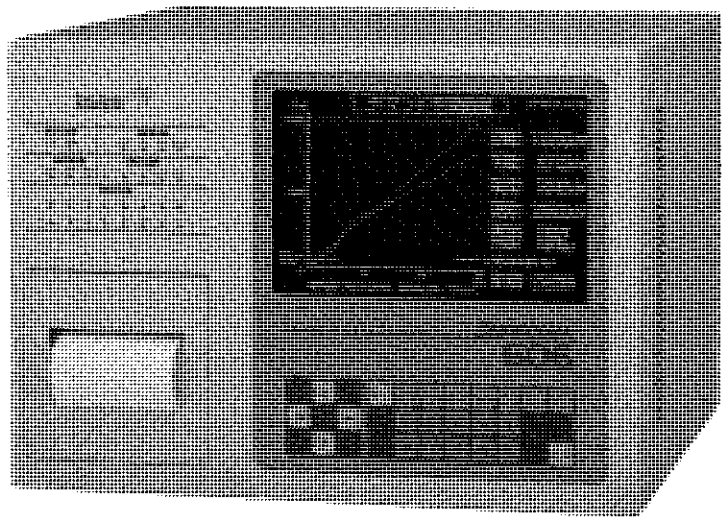
OSAKI

要保存

デマンドコントロール装置
スーパーマックス 606
ろくまるろく

取扱説明書



大崎電気工業株式会社

〒141-8646　東京都品川区東五反田２丁目２番７号
電話　(03) 3443－７１７１（代表）

はじめに

このたびは、デマンドコントロール装置「スーパーマックス６０６」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
デマンドコントロール装置「スーパーマックス６０６」は、契約電力の超過防止、計測・記録業務の省力化を図る装置です。
本書は、「スーパーマックス６０６」を正しくご使用いただくために、取扱方法や注意事項などについて説明しています。
使用前に本書をよくお読みいただき、取付後も大切に保管してください。

●説明内容および設定などでお客様ご自身で判断できないときは、必ず当社までお問い合わせください。
お客様ご自身での設定などによる不具合、損害等の責を当社で負うことはご容赦ねがいます。

機器仕様、演算などソフトウェア仕様については、「仕様書」を参照してください。

◇本書の内容を無断で転載することを固くお断りいたします。
◇製品の改良などにより、本書の内容に一部合致しないことがあります。

目　次

安全上のご注意 …… 1
- 本書での記号の意味 …… 1
- 図記号の意味 …… 1
- 施工上の注意事項 …… 1
- 使用上の注意事項 …… 2
- 設置場所の注意事項 …… 2
- 保守・点検・廃棄上の注意事項 …… 2
- 保証 …… 3
- 有償業務の範囲 …… 3
- 構成 …… 3

使用上のご注意 …… 4
- 制御負荷設定について …… 4
- 目標電力設定について …… 4
- 入力補助電源 …… 4
- 関連機器との接続 …… 4

停電補償 …… 4

各部の名称と働き …… 5
- 本体表面 …… 5
- 本体裏面 …… 6

システム構成例 …… 7

接続例 …… 8

接続 …… 9
- 入力 …… 9
- 出力 …… 10

運転操作 …… 11
- 電源投入 …… 11
- 停電補償用バッテリーの電源投入 …… 11
- ジャーナルプリンタの用紙交換 …… 11
- 設定 …… 11
- デマンドスタート …… 11

各項目の設定 12
時計設定 12
基本的な設定手順 13
基本設定 14
時限設定 16
制御定数設定 17
◇制御定数設定1 17
◇制御定数設定2 19
目標値切替設定 20
時間帯設定 21
◇時間帯設定1 21
◇時間帯設定2 22
◇時間帯設定3 23
年夜間率設定 24
スケジュール設定 25
◇スケジュール設定1 25
◇スケジュール設定2 26
時限パルス設定 27
時計設定 28
環境設定 28
計測ユニットアナログ定数設定 32
計測ユニットパルス定数設定 34

デマンドスタート 35

負荷の手動操作 36

画面表示 37
操作手順 37
表示内容 38
デマンド予測曲線 38
拡大デマンド曲線 38
デマンド監視 39
警報・負荷状態 39
負荷制御実績 39
デマンド制御実績 40

５分デマンドトレンド曲線 …… 40
日負荷曲線 …… 41
月デマンド曲線 …… 42
年デマンド曲線 …… 42
月デマンド度数曲線 …… 42
年デマンド度数曲線 …… 43
各月最大時データ …… 43
デマンドデータ拡大表示 …… 44
受電日報 …… 45
受電月報 …… 45
フィーダ日報 …… 46
フィーダ月報 …… 46
フィーダ任意 …… 47
月夜間率 …… 47
年夜間率 …… 48
月時間帯別集計 …… 48
年時間帯別集計 …… 49
電力量パルス入力 …… 49

印字例 …… 50

外形寸法図 …… 63

画面表示一覧表 …… 64

設定一覧表 …… 67

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示とその意味は次のようになっています。

本書での記号の意味（損害の程度）

表　　示	表　示　の　意　味
⚠危険	誤った取扱いを行った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合を示します。
⚠注意	誤った取扱いを行った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を示します。

物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を意味します。

図記号の意味（守っていただきたい内容）

図　記　号	図　記　号　の　意　味
	◇は危険を示します。 具体的な内容は、◇の中の近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
	⃠は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な内容は⃠の中の近くに文章や絵で示します。 左図の場合は、「分解禁止」を示します。
	●は強制（必ずすること）を示します。 具体的な内容は●の中の近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「一般の義務的行為」を示します。

施工上の注意事項

専門業者

・電気工事は有資格者（電気工事士）が行ってください。
工事に不備があると、火災や感電などの事故の原因となります。

危険

取扱説明書確認

・配線工事を行う時には、必ず取扱説明書を読んで、それに従ってください。
感電などの事故や負荷機器の物的損害などの原因となります。

使用上の注意事項

危険

感電注意

・端子カバーは必ず取り付けてください。
端子や電線に直接触れて、感電などの事故の原因になります。

設置場所の注意事項

禁止

誤動作、寿命低下、事故、故障の原因となりますので、次のような場所での設置、使用をしないでください。

- 周囲温度が5℃～45℃の範囲を超える所
- 周囲温度が90%を超える所や、90%以下でも結露する所
- 水がかかったり、直射日光（紫外線）が当たる所
- 振動や衝撃の多い所
- ノイズやサージを発生する機械のある所
- 強電界、強磁界の発生する所
- 埃（特に鉄粉やカーボンなどの導電性の粉塵）やアンモニア、亜硫酸ガスなどの腐食性ガスの多い所
- 屋外

保守・点検・廃棄上の注意事項

注意

点検確認

- 保守点検は電気工事士の資格を有する者が行ってください。
保守、点検は定期的に（年1回程度）行ってください。
端子の締め付けが緩んでいたりすると、火災などの事故の原因となります。
本体に関連する電源プラグ、コンセントについては、緩み、埃、湿気などによる絶縁不良、接触不良などが発生しないよう同様に点検してください。

分解禁止

- 分解、改造やご自身での修理は行わないでください。
感電、火災などの事故や本体の故障の原因となります。

電源を切れ

- 異常が起きた時には電源を切り、電気工事士の資格を有する者に連絡してください。
そのまま使用すると、火災や負荷機器への悪影響の原因となります。

注意

- 廃棄する場合は、産業廃棄物として処分してください。

保　証

保証期間は、本体を納入後１年といたします。
保証期間中に当社が納入した本体に欠陥があるときは、無償で修理、交換いたします。
（原則として、本体を弊社で引き取り修理させていただきます。）
ただし、下記の項目に該当するときは、修理を有償とさせていただきます。

- 本器を本書に記載されていない不適当な取り扱い、ご使用になった場合
- 故障の原因が当社以外の理由による場合
- 当社以外の改造、修理による場合
- 天災、当社以外の人災などによる場合

保証は、本体の保証を意味するもので、本体の故障で誘発される損害についてはご容赦ください。

有償業務の範囲

次のような場合は、別途費用を申し受けます。

- 取り付け調整指導、または試運転立会い
- 保守点検、調整
- 技術資料、および技術教育
- 本装置に付属の取扱説明書、試験成績書などの再発行および付属部数以上に必要な場合

構　成

＜本体＞

デマンドコントロール装置「スーパーマックス 606」

＜付属品＞

1. 圧着端子		81個
2. アース端子付電源コード		1本
3 印字用紙		3巻
4. ヒューズ	定格３Ａ　125Ｖ	2本
5. 取扱説明書		1部
6. 試験成績書		1部

＜関連機器＞

1. パルス検出器（ＯＣＫ　形）
2. 発信装置付電力量計
3. 電子式パルス変換器（ＯＣＥ　形）
4. データ入力ユニット（ＭＣ－88形）
5. サテライトユニット（ＫＵ－16Ⅱ形）
6. ターミナルプリンタ
7. 印字用紙自動巻取器
8. 印字用紙
   「スーパーマックス 606」用印字用紙
   （感熱紙80㎜(幅)×25m（長さ））　10巻／１組
9. パネル取付用金具
10. 停電補償用電池

※上記関連機器のご注文および修理点検は、弊社営業担当または代理店にご注文ください。

使用上のご注意

安全上のご注意の他、取り扱い上、特にご注意いただきたいことは次のとおりです。

制御負荷設定について

- 制御対象負荷の使用電力（負荷容量）、稼働状況などに関する実態をあらかじめ十分調査してください。
- 通常稼働率の低い負荷、またはピーク時間帯に稼働しない負荷を制御対象としても、ピーク回避または契約電力超過回避効果はありません。

目標電力設定について

- デマンド監視・制御プログラムについては万全を期していますが、本装置導入当初は、制御対象負荷の事前調査と実態のずれ、データの検出、計算動作の多少のずれ、契約電力の大小による誤差など予期できない事態を考慮して、契約電力値または管理目標値より若干、低めに設定してください。

入力補助電源

- 電源電圧の仕様範囲外で使用しますと、誤動作および故障の原因となりますので、電圧変動の多い場所でご使用の場合には、定電圧電源装置をご使用ください。
- 本装置はマイクロコンピュータを主体に、各種半導体などにより構成されていますので、ノイズやサージの少ない電源をご使用ください。
- 本装置は安全上とノイズやサージ対策の点からも、必ず接地してご使用ください。
  （接地付コンセントをご使用ください。）

関連機器との接続

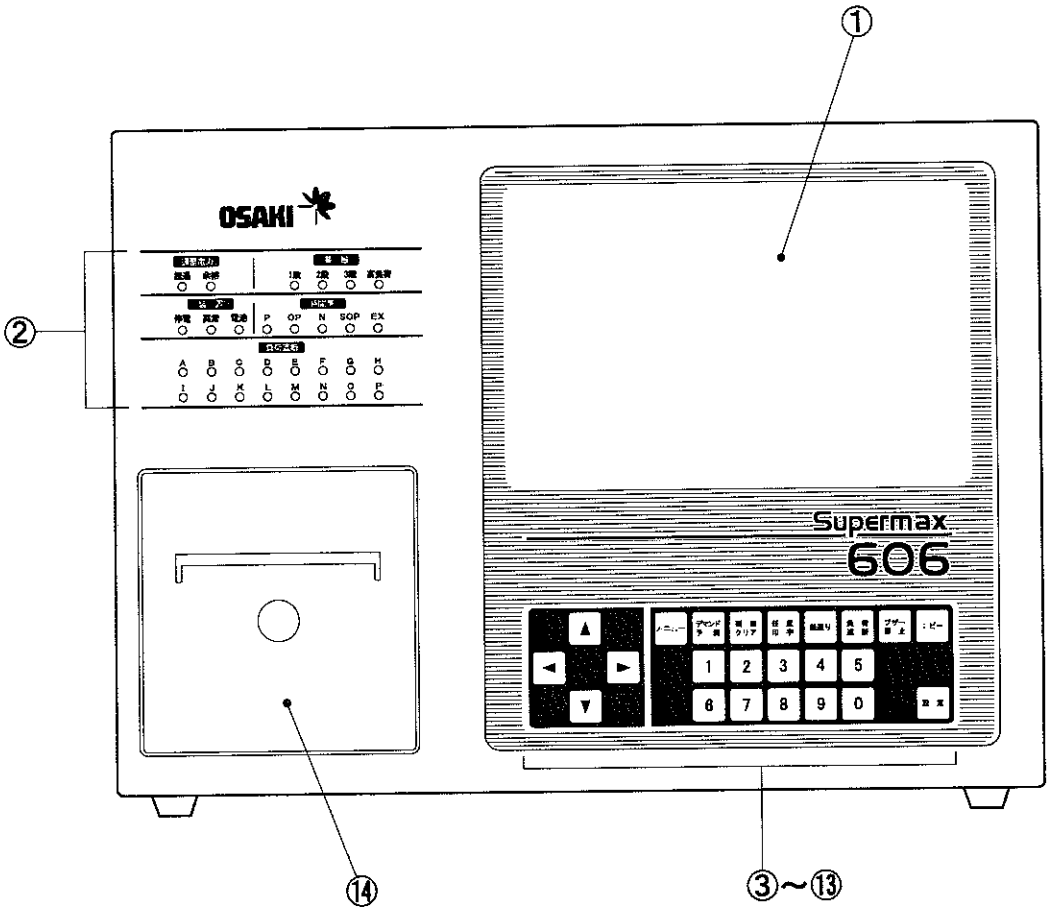
- パルス、アナログ入力信号は本装置の計測精度に関係しますので、配線および接地には十分注意してください。
- パルス入力部に電圧が加わると、入力回路が破壊されるおそれがありますので、絶対に電圧をかけないでください。

停電補償について

- 本装置の停電補償はリチウム電池を使用しており、電池の寿命は通常使用時で約１０年間です。（累積停電時間２０００時間以上）
- 停電中の処理は次のとおりです。
  1）時計機能は動作しています。
  2）各種計測データおよび設定データは保護されています。
- 停電補償用バッテリースイッチがＯＮになっていない時に、本体電源スイッチをＯＦＦにしたり停電があるとすべてのデータは消去されますので、必ずバッテリースイッチはＯＮにしてください。

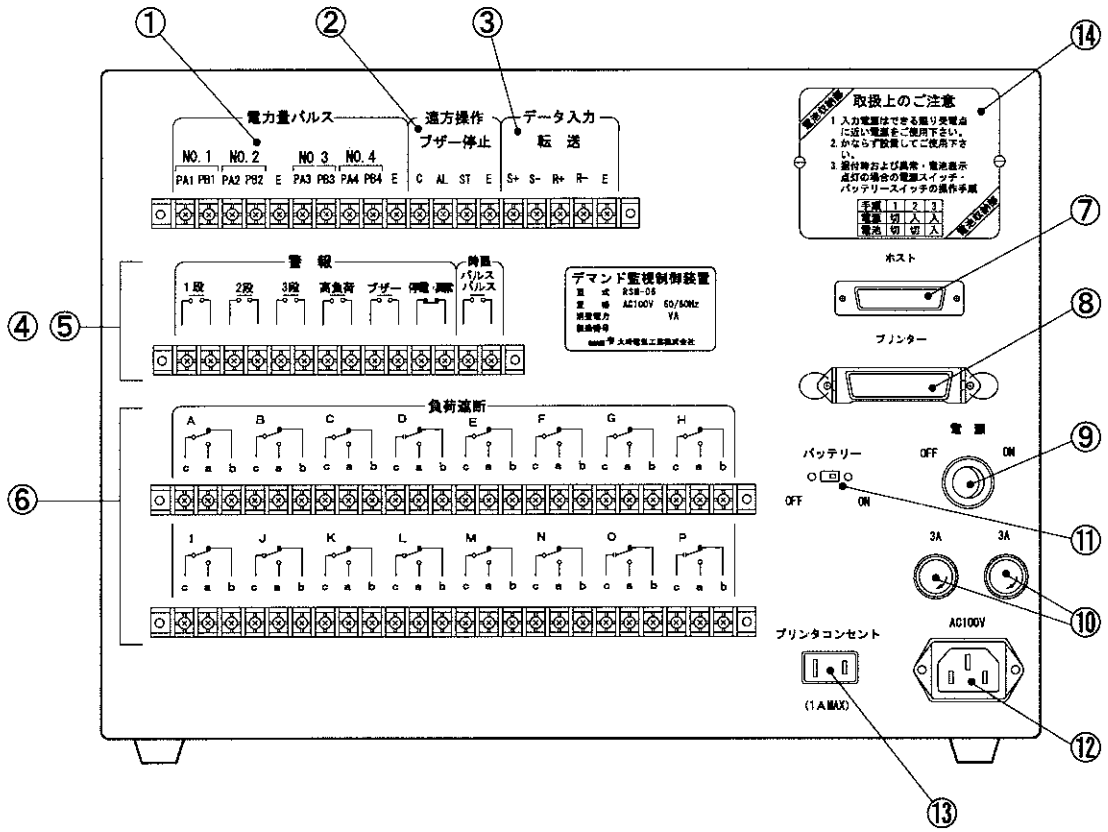
各部の名称と働き

本体表面



① ＥＬディスプレイ	：各種設定・操作・計測データを表示します。
② ＬＥＤ表示部	：調整電力・警報状態・装置状態・時間帯・負荷遮断状態を表示します。
③「メニュー」キー	：「メインメニュー」画面を表示します。
④「デマンド予測」キー	：デマンド予測曲線を表示します。
⑤「画面クリア」キー	：ＥＬディスプレイの画面を消します。
⑥「任意印字」キー	：受電管理データ（電力量、デマンド値、負荷率、力率など）の印字ができます。
⑦「紙送り」キー	：ジャーナルプリンタの印字用紙を紙送りします。
⑧「負荷遮断」キー	：負荷を自動運転するか、手動で制御するかを設定できます。
⑨「ブザー停止」キー	：警報時のブザーを停止させます。
⑩「コピー」キー	：ＥＬディスプレイの画面をハードコピーします。
⑪「設定」キー	：設定データを内部メモリに取り込ませます。
⑫「テン」キー	：各種データ設定時に使用します。
⑬「▲▼◀▶」キー	：ＥＬディスプレイの画面において、カーソルを移動させます。
⑭ ジャーナルプリンタ	：各種の印字を行います。

本体裏面



① 電力量パルス入力用端子　：パルス検出器からのパルス入力、およびフィーダ管理用電力量パルス入力、力率管理用無効電力量パルス入力を接続します。

② 遠方操作・ブザー停止入力用端子　：遠方デマンドスタート、ブザー停止用スイッチを接続します。

③ データ入力伝送用端子　：計測ユニットを接続します。

④ 警報出力用端子　：各種警報を出力します。

⑤ 時限パルス用端子　：デマンド時限更新時に同期信号を出力します。

⑥ 負荷遮断出力用端子

⑦ RS－232C用コネクタ　：ホストパソコンなどへの接続用コネクタ

⑧ ターミナルプリンタ用コネクタ　：ターミナルプリンタ接続用コネクタ

⑨ 電源スイッチ

⑩ ヒューズ

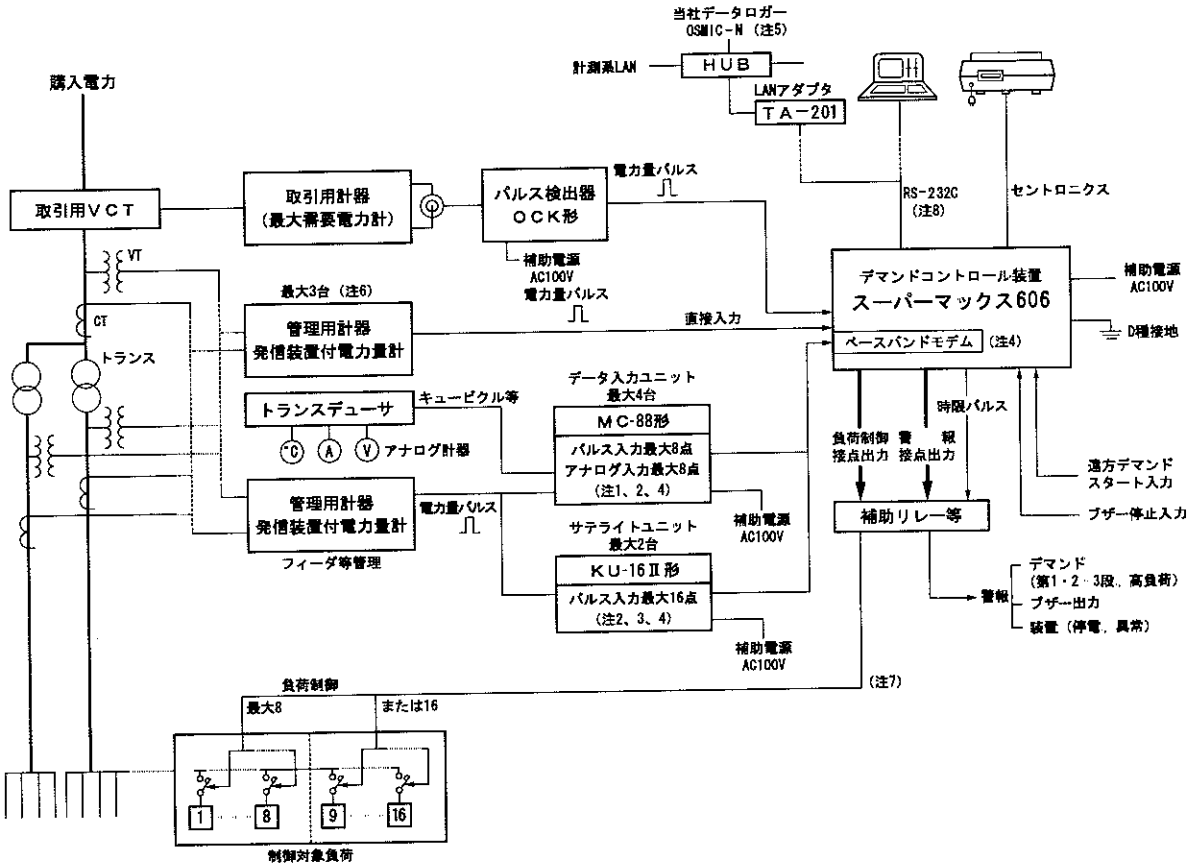
⑪ 停電補償用バッテリースイッチ

⑫ 電源入力用端子

⑬ ターミナルプリンタ用電源

⑭ 停電補償用バッテリー収納部

システム構成例



（注1）温度センサ（JIS Pt100Ω 0℃ 3線式）は、直接、MC-88形に接続可能です。（ユニットあたり3点まで。）

（注2）MC-88形とKU-16Ⅱ形の組合わせ台数には、次表の制限があります。

MC-88	4	3	2	1	0	台
KU-16Ⅱ	0	0	1	1	2	台

（注3）KU-16Ⅱ形は在庫限りです。

（注4）MC-88形とKU-16Ⅱ形を接続する場合、オプションのベースバンドモデムが必要です。

（注5）OSMIC-Nへの接続は、当該製品の資料をご参照ください。

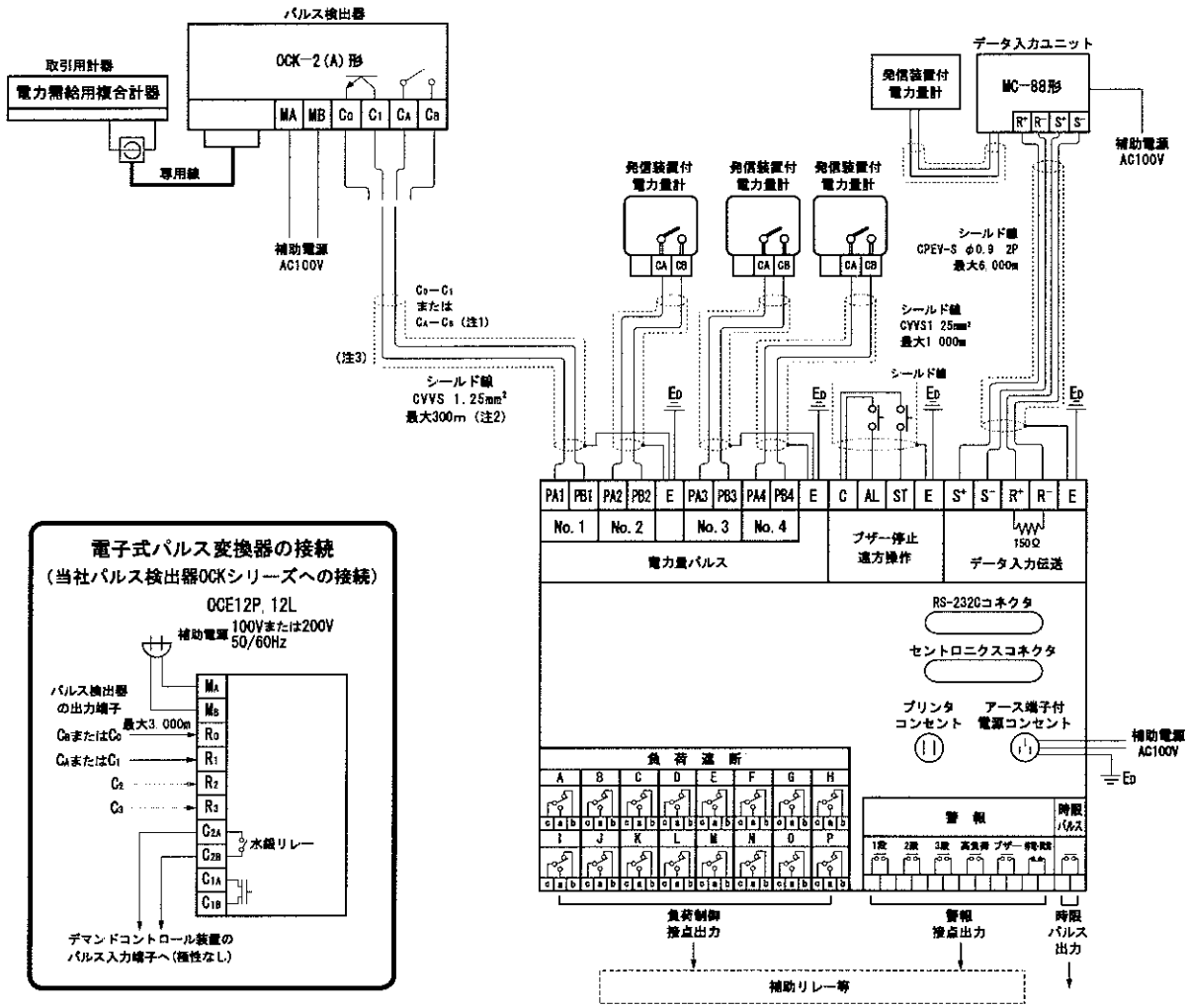
（注6）無効電力量計は1台のみです。

（注7）負荷制御信号の伝送路として、負荷の電源電力線を使用する電力線通信方式があります。

（注8）オプションとして「データ保存用ソフト（専用ケーブル付）」があります。

接　続　例

■当社パルス検出器　OCK-2A, OCK-2と接続



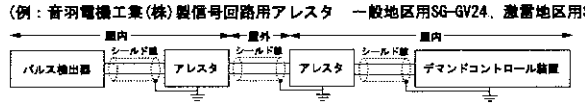
(注) 300m以上の伝送の場合は、当社電子式パルス変換器OCEシリーズをご使用ください。(パルス検出器の後に接続)

ご注意

1 雷害対策

パルス入力線を屋外に敷設する場合は、信号回路用アレスタをつけることをおすすめします。

(例：音羽電機工業(株)製信号回路用アレスタ　一般地区用SG-GV24、激雷地区用SA-GZ24、いずれも2線式、定格電圧DC24V)



パルス搬送線は、一端を接地してください。

2 本体の誤動作、破壊防止対策

負荷制御にあたっては、デマンドコントロール装置本体の誤動作、破壊を防止するため、補助リレー、電磁開閉器等をご使用のうえ、サージ吸収素子 (R+C) を接続してください。

(例：日通工　エレクトロニクス(株)製　CR2B104C121 (125V定格)　CR2E104C121 (250V定格)
岡谷電機産業(株)製　S-1201 (150V定格)　XE-1201 (250V定格))

接　　続

「各部の名称と機能」、「システム構成」および「接続例」を参照のうえ、関連機器と正しく接続してください。
入力線および出力線の接続については、システムを屋内で使用することを前提としています。
入力線あるいは出力線が屋外を経由する場合には、雷サージ等の影響を回避するためのサージ吸収素子等を両端に取り付けてください。

入力

1．電源

●ノイズが少なく、電圧変動が１００Ｖ±１０％以内で、停電の少ない電源から接地付コンセントを使用して引き込んでください。

●必ず専用Ｄ種接地を行ってください。

2．電力量パルス直接入力

●入力線は１．２５ mm² 以上の２心シールド線（ＣＶＶ－Ｓ）を使用してください。

●オープンコレクタ出力を入力する場合には、Ａ側にＣ₀端子（－：エミッタ側）から、Ｂ側にＣ₁端子（＋：コレクタ側）からの線を接続してください。
（無電圧接点出力の場合には、どちらに接続しても構いません。）

●力率管理を行う場合は、電力量パルスＮｏ．１にデマンドパルス（パルス検出器からの信号），電力量パルスＮｏ　２に無効電力量計（遅れ側）を接続してください。
（電力会社における力率管理は、遅れのみで行われていますので、進み側無効電力量は入力しなくても力率管理は行えます。）
デマンド合成を行う場合には、デマンド合成用有効電力量計を電力量パルスＮｏ．２に接続し、無効電力量計は電力量パルスＮｏ．３に接続してください。

●本体～計量器の距離（入力線の長さ）は最大１ｋｍです。
これ以上でご使用になる場合には、パルス変換器をご使用ください。

3　伝送入力（フィーダ管理用）

●入力線はφ０．９以上の２心伝送用シールド線（ＣＰＥＶ－Ｓ）を使用してください。

●本体の伝送入力部Ｓ＋，Ｓ－，Ｒ＋，Ｒ－端子と計測ユニットのＲ＋，Ｒ－，Ｓ＋，Ｓ－端子を接続してください。

●本体～計測ユニット（ＭＣ－８８，ＫＵ－１６ Ⅱ）の距離（入力線の長さ）は最大６ｋｍです。

4．遠方スタート

●入力線は１．２５ mm² 以上の２心ケーブルを使用してください。

●オープンコレクタ出力を入力する場合には、遠方操作入力部のＣ端子にＣ₀端子（－：エミッタ側）から、ＳＴ端子にＣ₁端子（＋：コレクタ側）からの線を接続してください。
（無電圧接点出力の場合には、どちらに接続しても構いません。）

●本体～接点出力までの距離（入力線の長さ）は最大５００ｍです。

出力

1　警報出力

・1段、2段、3段、高負荷、ブザーの各警報出力は、それぞれ独立した無電圧ａ接点出力で出力されます。

・停電／異常警報出力は、独立した無電圧ｂ接点出力で出力されます。
（警報出力時にＯＮとなります。）

・接点容量はＡＣ２２０Ｖ，５Ａ（抵抗負荷）です。機器の保護、誤動作防止のためにも、補助リレー（リレーボックス）、または電磁開閉器等をご使用ください。

2　負荷遮断出力

・負荷遮断出力はＡ～Ｈ（１６回路の場合はＡ～Ｐ）それぞれの端子から独立した無電圧ｃ接点出力で出力されます。

・接点容量はＡＣ２２０Ｖ，５Ａ（抵抗負荷）です。機器の保護、誤動作防止のためにも、補助リレー（リレーボックス）や電磁開閉器等をご使用ください。

3　時限パルス出力

「時限パルス設定」で「有効」に設定されている場合に、デマンド時限更新同期信号が無電圧ａ接点で出力されます。

4　ターミナルプリンタ（オプション）

専用ケーブル（３ｍ）で、本体プリンタコネクタとターミナルプリンタを接続してください。

5　ホストコンピュータおよびＬＡＮアダプター（オプション）

ＲＳ－２３２Ｃ用専用ケーブル（最大１０ｍ）で本体ホストコネクタと接続してください。

運転操作

電源投入

裏面パネルの電源スイッチをＯＮします。
この時、ジャーナルプリンタは「電源投入」と印字します。

停電補償用バッテリーの電源投入

裏面パネルのバッテリースイッチをＯＮします。

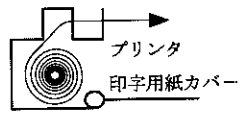
- バッテリースイッチがＯＮになっていない時には、ＥＬディスプレイに「バッテリースイッチをＯＮにしてください！」と表示されます。
- バッテリースイッチがＯＮになっていない時に、本体電源スイッチをＯＦＦにしたり、停電があると、すべてのデータは消去されますので、必ずバッテリースイッチはＯＮにしてください。

ジャーナルプリンタの用紙交換

製品出荷時にはプリンタ保護のため、プリンタヘッド部に紙をはさんでありますので、電源スイッチを入れた後に必ず新しい印字用紙を装着してください。

＜交換操作＞

1．今、入っているプリンタ用紙を手前に引いて、取り除いてください。
2．プリンタカバーを手前に引き、プリンタ部を開けてください。
3．印字用紙先端を真っすぐに切り（ギザギザがないよう）、プリンタ下部挿入口より、止まるまで差し込み、印字用紙が前面に出るまで「紙送り」キーを押して、印字用紙が正常に送り出されることを確認してください。
（用紙の曲がり，しわ等がないかを確認してください。）
4．プリンタカバーの印字用紙吐き出し口に印字用紙を通し、プリンタカバーを閉めてください。



設定

設定手順（Ｐ１１），設定内容（Ｐ１２～Ｐ３４）に従って、各種設定を行ってください。

デマンドスタート

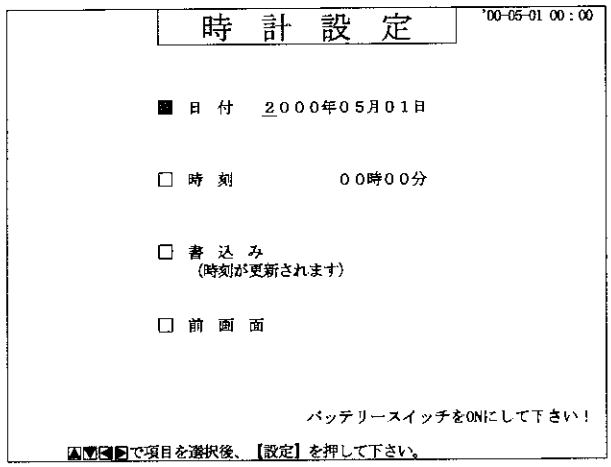
すべての設定が終了したら、デマンドスタート操作を行い、デマンド管理を始めてください。

＜デマンドスタートの方法＞

1.『設定メニュー』から『デマンドスタート』を選択し、その画面の操作によりデマンドスタートを行う。（Ｐ３５参照）
2. 裏面パネルの「遠方操作」端子（ＣとＳＴ端子）を、押しボタンスイッチ等で瞬間的にＯＮし、デマンドスタートを行う。

各項目の設定

本体を設置後、初めて電源を投入すると「時計設定」画面が表示されますので、現在の日付と時刻を設定してください。



時計設定

1. 日付の設定
   ① ▲▼ キーで『日付』を選択します。
   (初期画面ではこの位置にあります。)
   ② ◀▶ キーでカーソルを設定場所に移動して設定してください。
   - 年：西暦で４桁の数字を入力してください。
   - 月：１～１２の数字を入力してください。
   - 日：１～３１の数字を入力してください。

2. 時刻の設定
   ① ▲▼ キーで『時刻』を選択します。
   ② ◀▶ キーでカーソルを設定場所に移動して設定してください。
   - 時は００～２３の数字を入力してください。
   - 分は００～５９の数字を入力してください。
   (取引用計器の時計表示と秒まで合わせます。取引用計器の時計の見方については、各電力会社にお問い合わせください。)

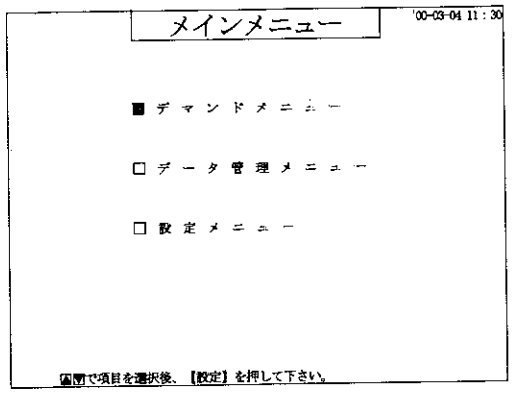
3. 書込み操作
   - 設定が終わったら、確認した上で ▲▼ キーで「書込み」を選択し、「設定」キーを押してください。
   - 押した時点で時計が００秒からスタートします。

   ※「時計設定」が終了したら、▲▼ キーで「メインメニュー」(「設定メニュー」の「時計設定」の場合には「前画面」) を選択し、「設定」キーを押して「メインメニュー」画面に戻してください。

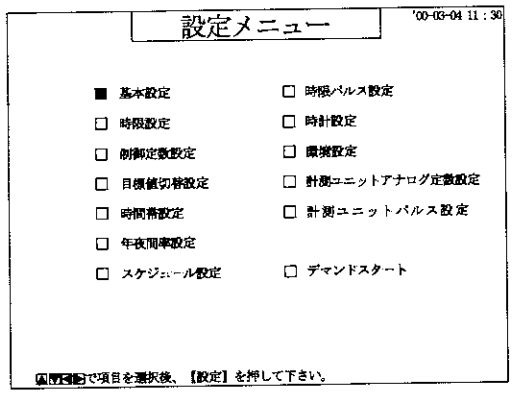
注意 １カ月に一度、時計の確認とデマンド時限の確認を行ってください。
(取引用計器の時計と合わせる。)

基本的な設定手順

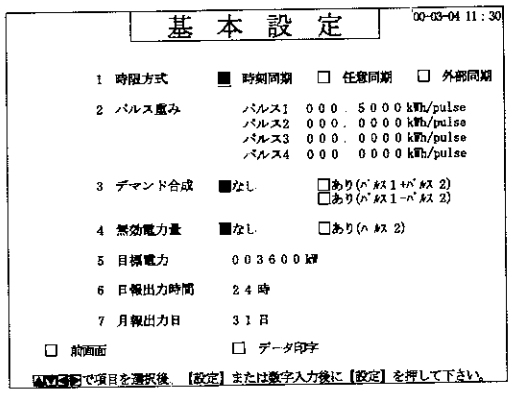
1.「メニュー」キーを押して『メインメニュー』画面にしてください。



2. ▲▼ キーで『設定メニュー』を選択して「設定」キーを押してください。
『設定メニュー』画面が表示されます。



3. ▲▼◀▶ キーで設定する項目を選択し、「設定」キーを押してください。
選択した項目の画面が表示されます。
例：基本設定



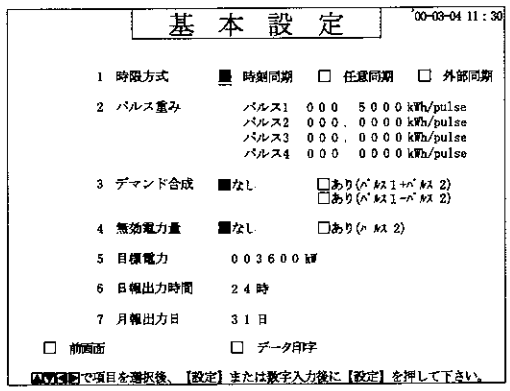
4. ▲▼◀▶ キーでカーソルを移動させ、「テン」キーと「設定」キーで設定してください。(時計設定以外は項目ごとに「設定」キーを押してください。)

5. ▲▼ キーで『前画面』を選択し、『設定メニュー』画面に戻し、次の設定項目を選択してください。

★各表示・設定項目については下記ページを参照してください。

・「デマンドメニュー」 …… P38へ
・「データ管理メニュー」 …… P45へ
・「設定メニュー」 …… P13へ

基本設定



1. 時限方式（時限更新後から有効）

デマンド時限の同期方式を設定します。

◀▶ キーにより『設定内容』を選択し、「設定」キーを押してください。

- 時刻同期：デマンド時限が時計（００分、３０分：デマンド時限３０分の場合）と同期します。
- 任意同期：機械式のデマンドメータに同期を合わせます。
- 外部同期：関西電力管内において取引用計器の時限パルスを用いる場合に使用します。

注意 外部同期を選択した場合は、時間帯管理が無効となります。

2. パルス重み（設定後ただちに有効）

１パルス当たりの電力量１次側換算値を設定します。

- 「パルス１／２／３／４」は、本体の電力量パルスNo.１～No.４の入力に対応します。

「テン」キーで入力し、「設定」キーを押してください。

- パルス重み＝合成変成比／パルス定数（kWh/pulse）

  合成変成比＝ＶＴ比×ＣＴ比

  パルス定数……入力している機器（一般にはパルス検出器）のパルス定数
- 単位はkWh/pulseに固定されていますので、無効電力量を指定した場合には、単位をkVarh/pulseに読み替えてください。

3. デマンド合成（時限更新後から有効）

デマンド合成を行うか否か、また、行うとしたら加算するか減算するかを設定します。

▲▼◀▶ キーで設定内容を選択し、「設定」キーを押してください。

- なし　：デマンド合成を行わない場合
- あり（パルス１＋パルス２）：電力量パルスNo.１とNo.２を加算します。
- あり（パルス１－パルス２）：電力量パルスNo.１からNo.２を減算します。

注意 パルス合成を減算する場合には

パルスNo.１＞パルスNo.２

となるように接続してください。

（パルスNo.１≦パルスNo.２の場合には“０”となります。）

- デマンド合成を行う場合、電力量の集計は次のようになります。

  加算：電力量パルスNo.１＋No.２の値

  減算：電力量パルスNo.１のみの値

4. 無効電力量（時限更新後から有効）

無効電力量計からのパルス入力により、力率管理を行うか否かを設定します。

◀▶ キーで『設定内容』を選択し、「設定」キーを押してください。

- 「なし」に設定した場合には、平均力率はゼロとなります。
- デマンド合成を「なし」と設定した場合にはパルスNo.2で計量します。
- デマンド合成を「あり」と設定した場合にはパルスNo.3で計量します。

5. 目標電力（時限更新後から有効）

デマンド管理を行うための管理目標値を設定します。

「テン」キーで入力し、「設定」キーを押してください。

- 通常は契約電力より若干低めの目標電力を設定します。
  （P 4の「使用上のご注意」をお読みください。）
- 目標値切替設定において目標値切替「あり」、または、時間帯別管理設定において時間帯別管理指定「あり」に設定されている場合には、この目標電力は無効となります。

6. 日報出力時間（時限更新後から有効）

日の中で日報を印字する時刻を設定します。

「テン」キーで１～２４の数字を入力し、「設定」を押してください。

- ２４時と設定すると、０時に前日の２４時としてデータを印字します。
  また、画面表示はカレンダー通りの日時表示となります。
- 運転途中に設定変更した場合、日負荷曲線や日報等の画面や印字におけるスケールの時間表示は、変更前の表示を継続し、次の月報出力後に変更となります。
  （この間、スケールの時間表示と合わせるためにデータのスタート位置はグラフや表の途中からとなります。）

7. 月報出力日（時限更新後から有効）

月の中で月報を印字する日を設定します。

「テン」キーで１～３１の数字を入力し、「設定」キーを押してください。

- 月末に出力させたい場合は３１日を設定をします。
  （２月は２９日、３０日に設定した場合にも月末出力となります。）
- 運転途中に設定変更した場合、月デマンド曲線や月報等の画面や印字におけるスケールの日付表示は変更前の表示を継続し、次の月報出力後に変更となります。
  （この間、スケールの日付表示と合わせるためにデータのスタート位置はグラフや表の途中からとなります。）

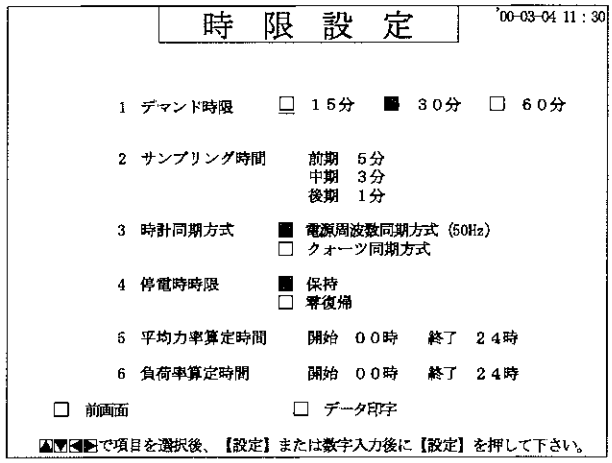
8. データ印字

- ▲▼◀▶ キーで「データ印字」を選択し「設定」キーを押すと、「基本設定」で設定された内容をジャーナルプリンタで印字します。

9. 前画面

- ▲▼◀▶ キーで「前画面」を選択し「設定」キーを押すと、「設定メニュー」画面に戻ります。

時限設定



1. デマンド時限（時限更新後から有効）
   デマンド管理の一時限の長さ(時間)を設定します。(通常は３０分です。)
   ◀▶ キーで『設定内容』を選択し、「設定」キーを押してください。
2. サンプリング時間（時限更新後から有効）
   予測電力の算出に必要なサンプリング時間を設定します。
   「テン」キーで１～５（１～５分）の数字を入力し、「設定」キーを押してください。
   - 一時限を前期，中期，後期（デマンド時限を３等分）に分け、それぞれのサンプリング時間で予測電力を演算します。
3. 時計同期方式（設定後ただちに有効）
   デマンド時限および時刻を電源周波数同期方式でカウントするか、本体内蔵のクォーツ時計でカウントするかを選択します。
   ▲▼ キーで『設定内容』を選択し、「設定」キーを押してください。
   - 電源周波数同期式：デマンド時限および時刻を電源周波数でカウントします。
   - クォーツ同期式時計：デマンド時限および時刻を本体内蔵のクォーツでカウントします。(商用電源以外のとき有効です。)
4. 停電時時限（時限更新後から有効）
   本体が停電したときに、その時限のデータを保持するか、零に復帰させるかを設定します。
   ▲▼ キーで『設定内容』を選択し、「設定」キーを押してください。
   - ０：保持
   - １：零復帰
5. 平均力率算定時間（時限更新後から有効）
   平均力率を計算する時間帯を設定します。
   「テン」キーで００～２４の数字を入力し、「設定」キーを押してください。
   - 全日を対象とする場合は開始００時～終了２４時とします。
   - 開始時刻と終了時刻を同時刻と設定した場合には、平均力率は算定されません。(００時～２４時を００時～００時とはしない。)

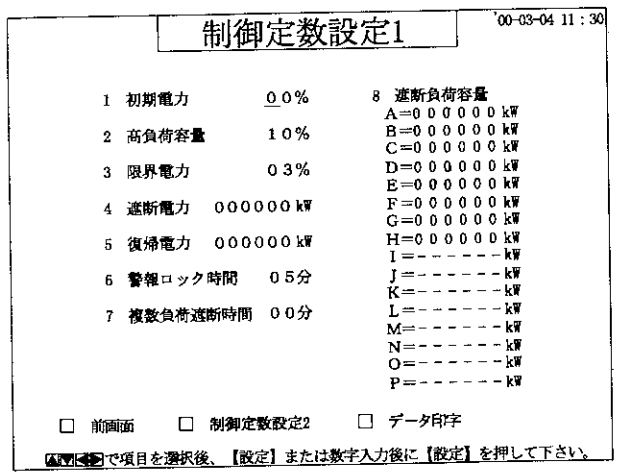
6. 負荷率算定時間（時限更新後から有効）
負荷率を計算する時間帯を設定します。
テンキーで００～２４の数字を入力し、「設定」キーを押してください。
- 全日を対象とする場合は開始００時～終了２４時とします。
- 開始時刻と終了時刻を同時刻と設定した場合には、負荷率は算定されません。
- 平均電力は負荷率算定時間で集計されます。

7. データ印字
- ▲▼◀▶ キーで「データ印字」を選択し「設定」キーを押すと、「時限設定」で設定された内容をジャーナルプリンタで印字します。

8. 前画面
- ▲▼◀▶ キーで「前画面」を選択し「設定」キーを押すと、「設定メニュー」画面に戻ります。

制御定数設定

制御定数設定１



1. 初期電力（時限更新後から有効）
デマンド時限開始時の目標現在電力の初期値を、目標電力に対する割合（%）で設定します。（特に時限前半部での警報の発生を抑えます。）
「テン」キーで００～９９の数字を入力し、「設定」キーを押してください。
- 初期値＝目標電力×初期電力（%）

2. 高負荷容量（時限更新後から有効）
５分間の移動平均における高負荷状態に対し、許容できる負荷容量の値を目標電力に対する割合（%）で設定します。
「テン」キーで００～９９の数字を入力し、「設定」キーを押してください。
- 許容できる負荷容量＝目標電力×［１＋高負荷容量（%）］

3. 限界電力（時限更新後から有効）
契約電力を超えない範囲で、超過許容値を目標電力の割合（%）で設定します。
「テン」キーで００～９９の数字を入力し、「設定」キーを押してください。
- 超過許容値＝目標電力（ｋW）×［１＋限界電力（%）］
- デマンド制御対象の負荷をすべて遮断した後、なお予測電力が限界電力を超えてしまうと判断した場合に、第三段警報を発します。

4. **遮断電力（ 時限更新後から有効）**

負荷遮断を行う負荷のうち、最小の負荷容量を設定します。

「テン」キーで負荷容量を入力し、「設定」キーを押してください。

5. **復帰電力（時限更新後から有効）**

負荷遮断を行う負荷のうち、最大の負荷容量を設定します。

「テン」キーで負荷容量を入力し、「設定」キーを押してください。

6. **警報ロック時間（時限更新後から有効）**

デマンド時限開始から、警報、および負荷遮断を行わない時間を１分単位で設定します。

「テン」キーで００～デマンド時限までの数字を入力し、「設定」キーを押してください。

7. **複数負荷遮断時間（時限更新後から有効）**

デマンド時限終了までの複数負荷遮断時間を１分単位で設定します。

「テン」キーで００～デマンド時限までの数字

（例：００分→使用しない　５分→残り５分間で使用　３０分→時限内全体で使用）を入力し、「設定」キーを押してください。

・複数負荷遮断時間を設定すると、その時間内においては予測電力が超過のとき、過分に相当するだけの負荷を「遮断電力設定」に関係なく、一気に遮断します。

・遮断順位に従って、負荷容量（ｋＷ）を計算します。

8. **遮断負荷容量（ 時限更新後から有効）**

遮断回路ごとの負荷容量を設定します。

「テン」キーで各負荷容量を入力し、「設定」キーを押してください。

・複数負荷遮断を行う場合の負荷容量の計算に使用します。

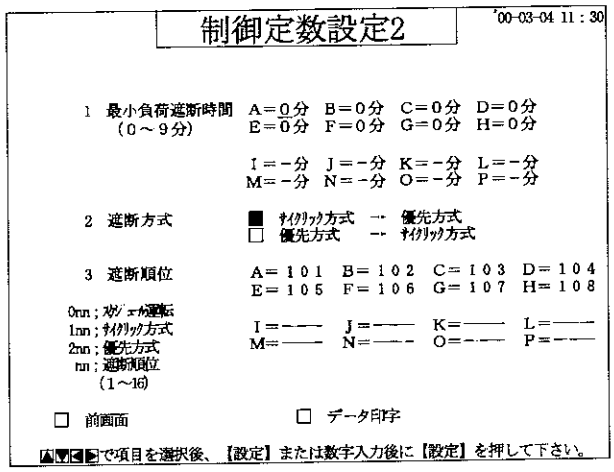
9. **データ印字**

・▲▼◀▶ キーで「データ印字」を選択し「設定」キーを押すと、「制御定数設定１」で設定された内容をジャーナルプリンタで印字します。

10. **「制御定数設定２」の画面へ**

・▲▼◀▶ キーで「制御定数設定２」を選択し「設定」キーを押すと、「制御定数設定２」画面に戻ります。

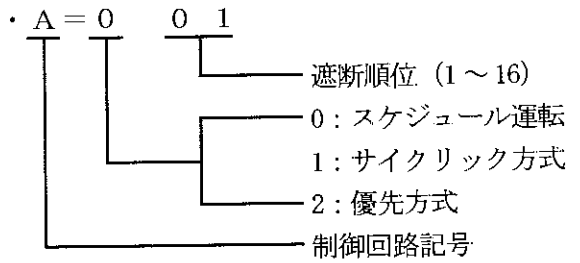
制御定数設定２



1. **最小負荷遮断時間（時限更新後から有効）**
遮断してから復帰までの最小時間（分）を、各回路ごとに１分単位で最大９分まで設定します。
「テン」キーで０～９の数字を入力し、「設定」キーを押してください。
・調整電力が余裕となっても、復帰すべき負荷が設定時間を経過するまでは復帰しません。
・０と設定した場合には、デマンド制御の遮断条件により復帰しますので、最小で３０秒となります。

2. **遮断方式（時限更新後から有効）**
デマンド制御により遮断する負荷の遮断方式（サイクリック方式と優先方式のどちらを先に行うか）を設定します。
▲▼ キーで『設定内容』を選択し、「設定」キーを押してください。
・サイクリック方式→優先方式：サイクリック方式の負荷を先に遮断します。
・優先方式→サイクリック方式：優先方式の負荷を先に遮断します。

3. **遮断順位（時限更新後から有効）**
負荷の遮断方式と遮断順位を設定します。
遮断方式と遮断順位を「テン」キーで入力し、「設定」キーを押してください。



・すべての負荷をサイクリック方式（または、スケジュール運転もしくは優先方式）で制御する場合には、頭の数字をすべて「１」（「０」または「２」）に設定してください。
・遮断順位は１から１６のうち、小さい数字から先に遮断されます。
・制御方式，遮断順位ともに同じに設定されている制御回路記号がある場合（例：Ｃ＝１０１，Ｄ＝１０１）には、アルファベットの頭（Ａ）に近い順に遮断されます。（「Ｃ＝１０１」が先）
・サイクリック方式、または優先方式に設定した場合は、スケジュール運転、またはデマンド制御の対象となります。

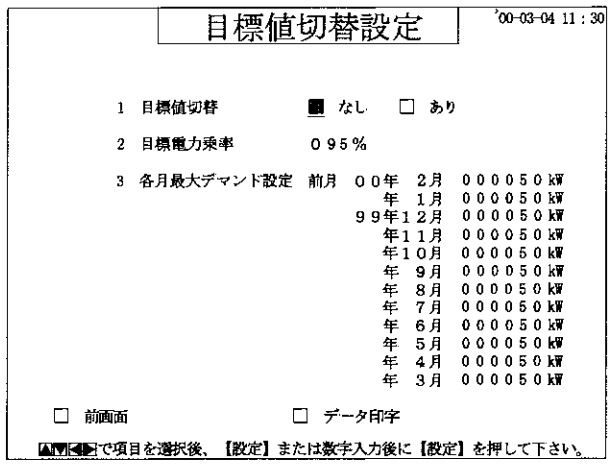
4. データ印字

・▲▼◀▶ キーで「データ印字」を選択し「設定」キーを押すと、「制御定数設定２」で設定された内容をジャーナルプリンタで印字します。

5. 前画面

・▲▼◀▶ キーで「前画面」を選択し「設定」キーを押すと、「制御定数設定１」画面に戻り、さらに「前画面」を選択すると「設定メニュー」に戻ります。

目標値切替設定



1. **目標値切替（時限更新後から有効）**

目標電力を任意の値に固定して管理をするか、年最大デマンドの更新に合わせて、目標電力も変更させるかを設定します。

◀▶ キーで「設定内容」を選択し、「設定」キーを押してください。

・なし（目標電力固定式）：管理目標値として「基本設定」で設定した目標電力、あるいは時間帯別目標電力が用いられます。

・あり（目標電力変動形）：月報出力時、またはデマンドスタート時において、目標電力が、年最大デマンド値に目標電力乗率を乗した値に更新されます。

・時間帯別管理指定がある場合は、目標値切替が無効となります。

2. **目標電力乗率（時限更新後から有効）**

目標値切替が「あり」の時に、デマンドの管理目標値の年最大デマンド値に対する割合（％）を設定します。

「テン」キーで０５０～１００の数字を入力し、「設定」キーを押してください。

3. **各月最大デマンド設定（設定後ただちに有効）**

目標値切替が「あり」の時に、デマンドの管理目標値の年最大デマンド値を決定するために、過去１２カ月分の月最大デマンド値を設定します。

「テン」キーで、過去１２カ月分の月最大デマンド値を入力し、「設定」を押してください。

・目標値切替が「なし」であれば、設定は不用です。

・月報処理時にその月の月最大デマンドが自動的に登録されます。

・各月最大デマンド値を修正した場合には、修正した月のデマンド曲線とデータ、日負荷曲線とデータは不一致となります。

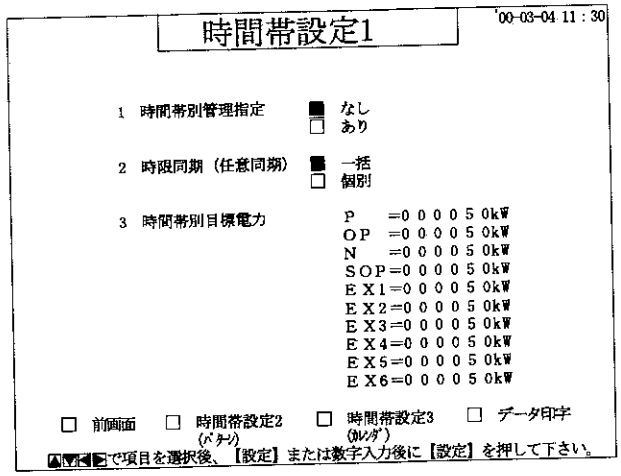
注意 過去のデータがないときは、管理するデマンド値を各月の値として設定してください。

4. データ印字
- ▲▼◀▶ キーで「データ印字」を選択し「設定」キーを押すと、「目標値切替設定」で設定された内容をジャーナルプリンタで印字します。

5. 前画面
- ▲▼◀▶ キーで「前画面」を選択し「設定」キーを押すと、「設定メニュー」画面に戻ります。

時間帯設定

時間帯設定1



1. **時間帯別管理指定（時限更新後から有効）**

時間帯別管理を行うか否かを設定します。

▲▼ キーで「設定内容」を選択し、「設定」キーを押してください。

- なし：時間帯別管理は行いません。
- あり：時間帯別管理を行います。
- 時間帯別管理が指定された場合、「目標値切替」の設定は無効となります。
- 「時限方式」が「外部同期」に設定されている場合には、時間帯別管理指定は無効となります。

2. **時限同期（時限更新後から有効）**

各時間帯のデマンド時限同期を一括で行うか、個別で行うかを設定します。

▲▼ キーで「設定内容」を選択し、「設定」キーを押してください。

- 時限方式が任意同期の時に有効となります。
- 一括：各時間帯ともデマンド時限の同期が同一となります。
- 個別：各時間帯ごとにデマンドスタート、あるいは遠方デマンドスタート操作が必要です。デマンドスタート、あるいは遠方デマンドスタート操作を行わなかった時間帯のデマンド時限の同期は、時刻に同期したものとなります。

3. **時間帯別目標電力（時限更新後から有効）**

必要な時間帯ごとに目標電力（ｋＷ）を設定します。

- 「テン」キーで時間帯ごとに目標電力を入力し、「設定」キーを押してください。

Ｐ：ピーク　　ＯＰ　：昼間
Ｎ：夜間　　ＳＯＰ：４時間帯用
ＥＸ１～ＥＸ６：任意に設定可能

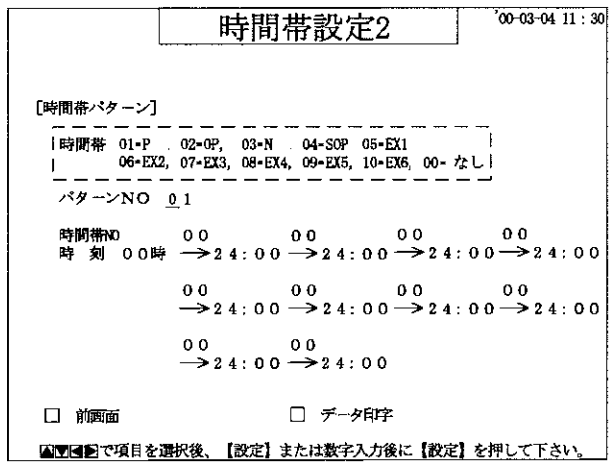
4. データ印字
- ▲▼◀▶ キーで「データ印字」を選択し「設定」キーを押すと、「時間帯設定１」で設定された内容をジャーナルプリンタで印字します。

5. 前画面
- ▲▼◀▶ キーで「前画面」を選択し「設定」キーを押すと、「設定メニュー」画面に戻ります。

時間帯設定２

各パターンごとに時間帯の設定を行います。
- 「時間帯設定１」の画面で、▲▼◀▶キーで「時間帯設定２」を選択し「設定」キーを押すと、「時間帯設定２」の設定画面に変わります。

▲▼◀▶ キーでカーソルを移動させ、パターンＮｏ.,時間帯(の種類)とその区分時間を設定します。１項目ごとに「設定」キーを押してください。



1. パターンＮｏ.(時限更新後から有効)
- パターンは１０パターン設定できます。
  ０１～１０の数字で設定してください。
- １パターンで１０区分の時間帯が設定できます。

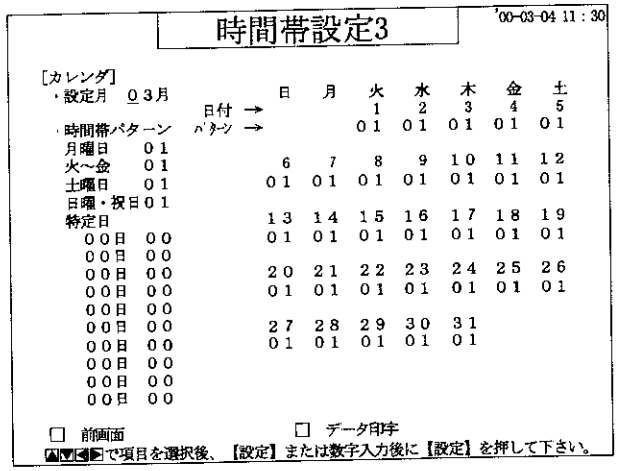
2. 時間帯Ｎｏ.(時限更新後から有効)
  ００～１０の数字で設定してください。
  ０１：Ｐ　０２：ＯＰ　０３：Ｎ　０４：ＳＯＰ
  ０５：ＥＸ１　０６：ＥＸ２　０７：ＥＸ３　０８：ＥＸ４
  ０９：ＥＸ５　１０：ＥＸ６
  ００：時間帯なし「００」が設定されると、それ以降は時間帯管理はしません。
- １番目の時間帯が“００：００”に設定されている場合は、時間帯管理を行いません。

3. 時刻（区分時間）(時限更新後から有効)
  ００：００～２４：００の数字で設定してください。
- 開始時刻は００時００分を起点とし、区分時間は各時間帯開始時間を設定します。
- ２４時が設定されていない場合は、設定した最後の時間帯が２４時まで実行されます。
- 区分時間は、００：００→２４：００と、後の数字が大きくなるように設定してください。
- 同時刻を設定した場合は、２４：００に読み替えますので、以降の設定は無効になります。

4. データ印字
   ▲▼◀▶ キーで「データ印字」を選択し「設定」キーを押すと、「時間帯設定２」で設定された内容をジャーナルプリンタで印字します。
5. 前画面
   ▲▼◀▶ キーで「前画面」を選択し「設定」キーを押すと、「時間帯設定１」画面に戻ります。

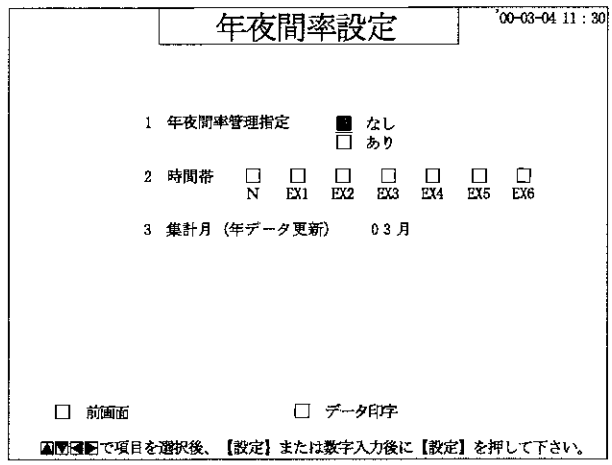
時間帯設定３

「時間帯設定１」の画面で、▲▼◀▶ キーで「時間帯設定３」を選択し「設定」キーを押すと、「時間帯設定３」の設定画面に変わります。
年間の時間帯パターンを各月別に月曜日，火～金曜日，土曜日，日曜・祝日，特定日（１０日）に分けて設定を行います。
▲▼◀▶ によりカーソルを移動し、時間帯パターンを設定します。１項目ごとに「設定」キーを押してください



1. 設定月（時限更新後から有効）
   ０１～１２を設定してください。
2. 時間帯パターン（時限更新後から有効）
   それぞれの曜日の時間帯パターンを、『時間帯設定２』で設定したパターンＮｏ.（０１～１０）で設定してください。
   - 指定日は、特定日＞日曜・祝日＞土曜日＞火～金＞月曜日の順に優先されます。
   - 祝日は「国民の祝日に関する法律」などの法令で、月および日ともに指定されているものが出荷時に設定されています。したがって、これ以外の祝日等（春分の日、秋分の日、成人の日、体育の日、祝日にはさまれた休日およびいわゆる振替休日）は、その都度設定してください。
3. データ印字
   ▲▼◀▶ キーで「データ印字」を選択し「設定」キーを押すと、「時間帯設定３」で設定された内容をジャーナルプリンタで印字します。
4. 前画面
   ▲▼◀▶ キーで「前画面」を選択し「設定」キーを押すと、「時間帯設定１」画面に戻ります。

年夜間率設定



夜間：「時間帯設定１」で設定した夜間（Ｎ）、およびＥＸ１～ＥＸ６

1. 年夜間率管理指定（時限更新後から有効）

年夜間率の計算を行うか否かを設定します。

▲▼ キーにより「設定内容」を選択し、「設定」キーを押してください。

なし：年夜間率の計算を行わない場合

あり：年夜間率の計算を行う場合

2. 時間帯（時限更新後から有効）

年夜間率を計算する時間帯を設定します。

▲▼◀▶ キーで「時間帯」を選択し、「設定」キーを押してください。

- 時間帯の指定がない設定をした場合には、夜間率を計算しません。

3. 集計月（時限更新後から有効）

年夜間率を集計する月度を設定してください。

「テン」キーで集計月度を０１～１２の数字で設定してください。

- 処理は月報出力時に行われます。
- 集計後は、年夜間率、および年累計電力量はクリア（更新）されます。
- 集計月で各種年データが更新されます。

4. データ印字

- **▲▼◀▶ キーで「データ印字」を選択し「設定」キーを押すと、「年夜間率設定」で設定された内容をジャーナルプリンタで印字します。**

5. 前画面

- **▲▼◀▶ キーで「前画面」を選択し「設定」キーを押すと、「設定メニュー」画面に戻ります。**

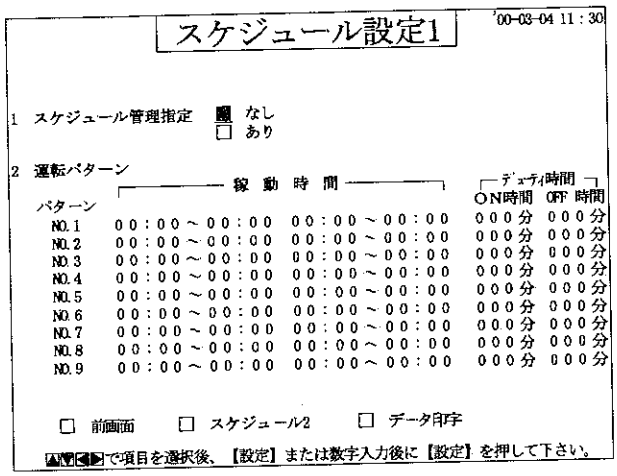
注意 「月度」とは、前月集計日から翌月集計日までの１カ月を言い、前集計日の属する月で表します。

例：集計日が毎月２０日のとき、４月２１日から５月２０日までを４月度と呼びます。

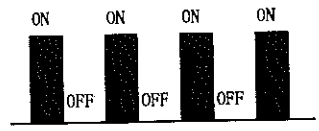
注意 年夜間率設定は「時間帯設定１～３」と関連していますので、必ず「時間帯設定１～３」を設定してください。

スケジュール設定

スケジュール設定1



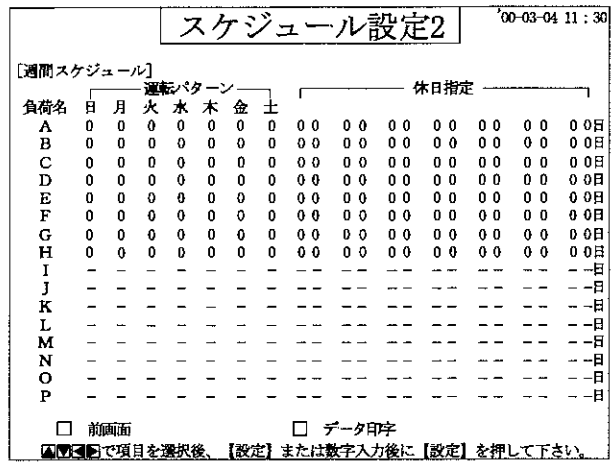
1. スケジュール管理指定（時限更新後から有効）
   スケジュール運転を行うか、否かを設定します。
   ▲▼ キーにより設定内容を選択し、「設定」キーを押してください。
   なし：スケジュール運転を行わない場合
   あり：スケジュール運転を行う場合
2. 運転パターン（時限更新後から有効）
   パターンごとに、稼働時間とデューティ（サイクル（繰り返し））運転する場合のデューティＯＮ，ＯＦＦ時間を設定します。
   稼働時間は開始（出力をＯＮさせる）時刻と、終了（出力をＯＦＦさせる）時刻を入力して、「設定」キーを押してください。
   - パターンは９パターン設定できます。
   - 各パターンごとに、稼働時間帯を２回設定できます。
   - 終了時刻は稼働時間に含みません。
   - 稼働時間は１分単位で設定できます。
   - 開始時刻より終了時刻の方が大きくなるように設定してください。
   - 開始時刻と終了時刻が同時刻の場合には、スケジュール運転を行いません。
   - 午前０時をまたいで、（日渡り）設定することはできません。
   - デューティ時間は出力をＯＮさせている時間を入力して、「設定」キーを押し、ＯＦＦさせている時間を入力して、「設定」キーを押してください。
   - デューティ時間は１分単位で設定できます。
   - 稼働時間中は、ｂ接点がＯＮとなります。



デューティ運転

3. データ印字
   - ▲▼◀▶ キーで「データ印字」を選択し「設定」キーを押すと、「スケジュール設定１」で設定された内容をジャーナルプリンタで印字します。
4. スケジュール設定２
   - ▲▼◀▶ キーで「スケジュール設定２」を選択し「設定」キーを押すと、「スケジュール設定２」の画面に移ります。
5. 前画面
   - ▲▼◀▶ キーで「前画面」を選択し「設定」キーを押すと、「設定メニュー」画面に戻ります。

スケジュール設定２



1. 週間スケジュール（時限更新後から有効）

曜日ごとに各負荷名に対して、「スケジュール設定１」で設定した運転パターンを割り振ります。また、各負荷名に対して休日を指定します。

運転パターンは「スケジュール設定１」で設定したパターンＮｏ.を「テン」キーで入力し、「設定」キーを押してください。

- 各曜日について、運転パターンを１～９で設定します。

  休日指定は月のうち、休日とする日（暦の日）を「テン」キーで入力し、「設定」キーを押してください。
- 各負荷名ごとに当月の休日指定を７日分設定できます。
- 休日指定に“００”を入力すると、その休日指定がなくなります。

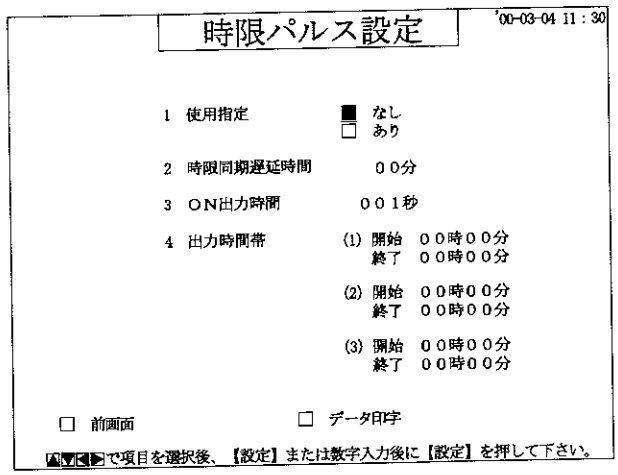
2. データ印字

- ▲▼◀▶ キーで「データ印字」を選択し「設定」キーを押すと、「スケジュール設定２」で設定された内容をジャーナルプリンタで印字します。

3. 前画面

- ▲▼◀▶ キーで「前画面」を選択し「設定」キーを押すと、「スケジュール設定１」画面に戻ります。
- さらに ▲▼◀▶ キーで「前画面」を選択し「設定」キーを押すと、「設定メニュー」画面に戻ります。

時限パルス設定



1. **使用指定（時限更新後から有効）**
   デマンド時限更新同期信号を外部出力する（デマンド時限終了時にパルス信号を外部に出力する）か否かを設定します。
   ▲▼ キーで『設定内容』を選択し、「設定」キーを押してください。
   なし：時限パルスを出力しません。
   あり：デマンド時限更新同期信号が、あらかじめ設定されたパラメータで外部出力されます。（無電圧ａ接点）
   - 使用指定が「あり」の場合、「デマンドスタート」、「遠方スタート操作」、あるいは「時刻同期で次の時限におよぶ時刻修正のとき」でも、時限パルスが出力されます。

2. **時限同期遅延時間（時限更新後から有効）**
   デマンド時限更新から同期信号出力までの遅延時間幅を設定します。
   遅延させる時間を（００～（時限－１））（分単位）までの数字で入力し、「設定」キーを押してください。

3. **ＯＮ出力時間（時限更新後から有効）**
   時限パルス出力のパルス幅を設定します。
   「テン」キーでＯＮ出力時間の幅を入力し、「設定」キーを押してください。
   - １秒単位で設定できます。
   - デマンド時限が１５分の場合に、９００秒（＝１５分）以上に設定しないでください。

4. **出力時間帯（時限更新後から有効）**
   時限パルス出力をする時間帯を設定します。
   「テン」キーで開始時刻と終了時刻を入力し、「設定」キーを押してください。
   - 出力時間帯は３つ設定できます。
   - 午前０時をまたいで設定できません。
   - 開始時刻と終了時刻が同時刻の場合には、信号は出力はされません。
   - 終了時刻にも出力します。

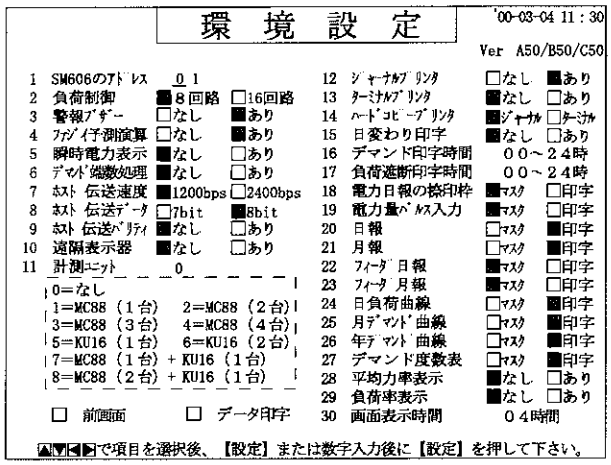
5. **データ印字**
   - ▲▼◀▶ キーで「データ印字」を選択し「設定」キーを押すと、「時限パルス設定」で設定された内容をジャーナルプリンタで印字します。

6. **前画面**
   - ▲▼◀▶ キーで「前画面」を選択し「設定」キーを押すと、「設定メニュー」画面に戻ります。

時計設定

時計設定(Ｐ１２)を参照してください。

環境設定



1. **スーパーマックス６０６のアドレス（設定後ただちに有効）**
   複数の「スーパーマックス６０６」を中央のコンピュータなどで管理する場合に、それぞれの「スーパーマックス６０６」にアドレスを設定します。
   「テン」キーでアドレス番号を入力し、「設定」キーを押してください。
   ・１台で使用する場合には“０１”と設定してください。
2. **負荷制御（時限更新後から有効）**
   本体の負荷制御回路数（最大）を設定します。
   ◀▶ キーで「８回路」または「１６回路」を選択し、「設定」キーを押してください。
3. **警報ブザー（設定後次の警報発生時から有効）**
   本体内蔵の警報ブザーを鳴動させるか否かを設定します。
   ◀▶ キーで「なし」または「あり」を選択し、「設定」キーを押してください。
   なし：警報（第１～２段）が出ても、ブザーを鳴動させません。
   あり：警報が発生した場合、ブザーを鳴動させます。
   ・「なし」に設定した場合でも、限界警報が発生した場合には、ブザーを鳴動し、警報ブザー接点は出力されます。
4. **ファジィ予測演算（時限更新後から有効）**
   デマンド予測演算にファジイ演算方式を用いるか、否かを設定します。
   ◀▶ キーで「なし」または「あり」を選択し、「設定」キーを押してください。
   なし：ファジイ演算方式を用いない場合
   あり：ファジイ演算方式を用いる場合
5. **瞬時電力表示（設定後ただちに有効）**
   デマンド予測曲線やデマンド監視に瞬時電力を表示するか、否かを設定します。
   ◀▶ キーで「なし」または「あり」を選択し、「設定」キーを押してください。
   なし：瞬時電力を表示しない場合
   あり：瞬時電力を表示する場合
   ・瞬時電力の入力は、１台目のデータ入力ユニットＭＣ－８８のアナログＮｏ．３に固定されていますので、別途、電力トランスデューサの接続とアナログ定数を設定してください。
   ・瞬時電力は３０秒ごとに表示します。

6. **デマンド端数処理（時限更新後から有効）**
デマンド時限更新時に、デマンド値の端数（１ｋW未満）を切り捨てるか、次時限に持ち越すかを設定します。
◀▶ キーで『なし』または『あり』を選択し、「設定」キーを押してください。
なし：デマンド時限更新時に、デマンド値の端数を切り捨てます。
あり：デマンド時限更新時に、デマンド値の端数を持ち越します。

7. **ホスト伝送速度（設定後ただちに有効）**
ホストＣＰＵなどを使用する場合に、データの伝送速度を設定します。
◀▶ キーで設定内容（「１２００ｂｐｓ」または「２４００ｂｐｓ」）を選択し、「設定」キーを押してください。

8. **ホスト伝送データ（設定後ただちに有効）**
ホストＣＰＵなどを使用する場合に、伝送データの長さを設定します。
◀▶ キーで設定内容（「７ｂｉｔ」または「８ｂｉｔ」）を選択し、「設定」キーを押してください。

9. **ホスト伝送パリティ（偶数）（設定後ただちに有効）**
ホストＣＰＵなどを使用する場合に、伝送パリティの有無を設定します。
◀▶ キーで設定内容（『なし』または『あり』）を選択し、「設定」キーを押してください。

10. **遠隔表示器（設定後ただちに有効）**
ベースバンドモデム（オプション）によるデータ伝送のみです。

11. **計測ユニット（設定後ただちに有効）**
計測ユニットを使用するか否か、また、使用する場合の接続する計測ユニットの組み合わせを設定します。
計測ユニットの組み合わせ番号を選択し、「テン」キーで入力し、「設定」キーを押してください。

・0：なし	
・1：ＭＣ－８８ … 1台	・2：ＭＣ－８８ … 2台
・3：ＭＣ－８８ … 3台	・4：ＭＣ－８８ … 4台
・5：ＫＵ－１６Ⅱ … 1台	・6：ＫＵ－１６Ⅱ … 2台
・7：ＭＣ－８８（１台）＋ＫＵ－１６Ⅱ（１台）	
・8：ＭＣ－８８（２台）＋ＫＵ－１６Ⅱ（１台）	

・各計測ユニットのアドレスはＭＣ－８８を先頭にして、開始アドレスを１から順番につけます。
例　計測ユニットの組み合わせ番号「８」のとき
No.1のMC-88のアドレス…1、No.2のMC-88のアドレス…2、
KU-16Ⅱのアドレス…3

12. **ジャーナルプリンタ（設定後ただちに有効）**
ジャーナルプリンタでの印字を行うか、否かを設定します。
◀▶ キーで『なし』または『あり』を選択し、「設定」キーを押してください。
なし：ジャーナルプリンタでの印字を行いません。
あり：ジャーナルプリンタでの印字を行います。

13. **ターミナルプリンタ（設定後ただちに有効）**
ターミナルプリンタでの印字を行うか、否かを設定します。
◀▶ キーで『なし』または『あり』を選択し、「設定」キーを押してください。
なし：ターミナルプリンタでの印字を行いません。
あり：ターミナルプリンタでの印字を行います。

14. **ハードコピープリンタ（設定後ただちに有効）**

ＥＬディスプレイ画面のハードコピーをジャーナルプリンタで行うか、ターミナルプリンタで行うかを設定します。

◀▶ キーで『ジャーナル』または『プリンタ』を選択し、「設定」キーを押してください。

ジャーナル：ジャーナルプリンタでハードコピーを行います。

ターミナル：ターミナルプリンタでハードコピーを行います。

15. **日変わり印字（設定後ただちに有効）**

日付が変わった時にその日付を印字するか、否かを設定します。

◀▶ キーで『なし』または『あり』を選択し、「設定」キーを押してください。

なし：日変わり印字を行いません。

あり：日変わり印字を行います。

16. **デマンド印字時間（設定後ただちに有効）**

デマンド時限終了時に、データ印字を行う時間帯を設定します。

（例：08：30～17：30のデマンド時限について行うときは、「09：00～17：30」の設定で可）

「テン」キーで開始時刻と終了時刻を入力し、「設定」キーを押してください。

・全日印字させる場合には、００～２４時と設定してください。

・午前０時をまたいで設定できません。

・開始時刻、終了時刻ともに印字時間の範囲に含まれます。

・開始時刻、終了時刻が同時刻のときには印字を行いません。

17. **負荷遮断印字時間（設定後ただちに有効）**

負荷遮断印字を行う時間帯を設定します。

「テン」キーで開始時刻と終了時刻を入力し、「設定」キーを押してください。

・全日印字させる場合には、００～２４時と設定してください。

・午前０時をまたいで設定できません。

・開始時刻、終了時刻ともに印字時間の範囲に含まれます。

・開始時刻、終了時刻が同時刻のときには印字を行いません。

・印字対象はデマンド制御のみです。

18. **電力日報の捺印枠（設定後ただちに有効）**

ターミナルプリンタで印字される電力日報に、捺印枠を設けるか否かを設定します。

◀▶ キーで『マスク』または『印字』を選択し、「設定」キーを押してください。

マスク：捺印枠を設けません。

印　字：捺印枠を設けます。

・電力日報の右上に３つの捺印枠が設けられます。

19. **電力量パルス入力（設定後ただちに有効）**

電力量パルス入力印字を行うか、否かを設定します。

◀▶ キーで『マスク』または『印字』を選択し、「設定」キーを押してください。

マスク：印字を行いません。

印　字：印字を行います。

・ジャーナルプリンタが対象となります。

20. **日報（設定後ただちに有効）**

日報印字を行うか、否かを設定します。

◀▶ キーで『マスク』または『印字』を選択し、「設定」キーを押してください。

マスク：印字を行いません。

印　字：印字を行います。

・ターミナルプリンタとジャーナルプリンタの両方が対象となります。

21. **月報（設定後ただちに有効）**
月報印字を行うか、否かを設定します。
◀▶ **キーで『マスク』または『印字』を選択し、「設定」キーを押してください。**
マスク：印字を行いません。
印　字：印字を行います。
・ジャーナルプリンタが対象となります。

22. **フィーダ日報（設定後ただちに有効）**
フィーダ日報印字を行うか、否かを設定します。
◀▶ **キーで『マスク』または『印字』を選択し、「設定」キーを押してください。**
マスク：印字を行いません。
印　字：印字を行います。
・ターミナルプリンタまたはジャーナルプリンタが対象となります。

23. **フィーダ月報（設定後ただちに有効）**
フィーダ月報印字を行うか、否かを設定します。
◀▶ **キーで『マスク』または『印字』を選択し、「設定」キーを押してください。**
マスク：印字を行いません。
印　字：印字を行います。
・ジャーナルプリンタが対象となります。

24. **日負荷曲線（設定後ただちに有効）**
日負荷曲線印字を行うか、否かを設定します。
◀▶ **キーで『マスク』または『印字』を選択し、「設定」キーを押してください。**
マスク：印字を行いません。
印　字：印字を行います。
・ジャーナルプリンタが対象となります。

25. **月デマンド曲線（設定後ただちに有効）**
月デマンド曲線印字を行うか、否かを設定します。
◀▶ **キーで『マスク』または『印字』を選択し、「設定」キーを押してください。**
マスク：印字を行いません。
印　字：印字を行います。
・ジャーナルプリンタが対象となります。

26. **年デマンド曲線（設定後ただちに有効）**
年デマンド曲線印字を行うか、否かを設定します。
◀▶ **キーで『マスク』または『印字』を選択し、「設定」キーを押してください。**
マスク：印字を行いません。
印　字：印字を行います。
・ジャーナルプリンタが対象となります。

27. **デマンド度数表（設定後ただちに有効）**
デマンド度数表印字を行うか、否かを設定します。
◀▶ **キーで『マスク』または『印字』を選択し、「設定」キーを押してください。**
マスク：印字を行いません。
印　字：印字を行います。
・ジャーナルプリンタが対象となります。

28. **平均力率表示（設定後ただちに有効）**
日負荷曲線，月デマンド曲線，年デマンド曲線での平均力率を表示するか、否かを設定します。
◀▶ **キーで「なし」または「あり」を選択し、「設定」キーを押してください。**
なし：表示を行いません。
あり：表示を行います。

29. 負荷率表示（設定後ただちに有効）

月デマンド曲線，年デマンド曲線での負荷率を表示するか否かを設定します。

◀▶ キーで『なし』または『あり』を選択し、「設定」キーを押してください。

なし：表示を行いません。

あり：表示を行います。

30. 画面表示時間（設定後ただちに有効）

長時間操作しない場合などで、自動的にＥＬディスプレイ表示を消去させたい場合に、最終操作時から表示を消去させるまでの時間を１時間単位で設定します。

「テン」キーで、表示を消去させるまでの時間を入力し、「設定」キーを押してください。

自動で表示を消去させたくない場合には、“２４”時間と設定してください。

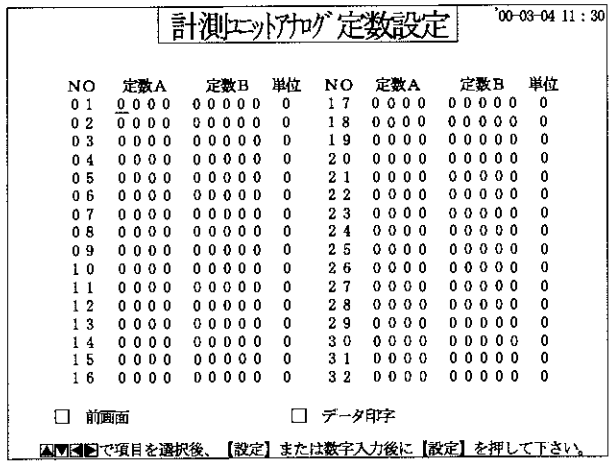
31. データ印字

◀▶ キー「データ印字」を選択し「設定」キーを押すと、「環境設定」で設定された内容をジャーナルプリンタで印字します。

32. 前画面

▲▼◀▶ キーで「前画面」を選択し「設定」キーを押すと、「設定メニュー」画面に戻ります。

計測ユニットアナログ定数設定



計測ユニットＭＣ－８８からのアナログ入力について設定します。

1. 定数Ａ・定数Ｂ（設定後ただちに有効）

定数Ａと定数Ｂに、それぞれトランスデューサの出力の最小値、最大値に対応する一次換算値を入力し、「設定」キーを押してください。

トランスデューサの出力	定数Ａ（４桁）	定数Ｂ（5桁）
ＤＣ　0～5Ｖ	0Ｖ時の一次換算値	5Ｖ時の一次換算値
ＤＣ　0～±5Ｖ	0Ｖ時の一次換算値	5Ｖ時の一次換算値
ＤＣ　1～5Ｖ	1Ｖ時の一次換算値	5Ｖ時の一次換算値

2. 単位（設定後ただちに有効）

下表から“1～8”の単位コードを選択して入力し、「設定」キーを押してください。

アナログ値	単　　位	単位コード
電　　力	kW	1
電　　圧	V	2
電　　流	A	3
0－±5V力率	%	4
温　　度	℃	5
周 波 数	Hz	6
無効電力	kVar	7
0－5V力率	%	8

＜力率測定の場合＞

a）0V～5V出力のトランスデューサを使用する場合

- 0Vおよび5Vの一次換算値を0、または50に設定してください。
- 一次換算値100は自動的に2．5Vと設定されます。

b）0V～±5V出力のトランスデューサを使用する場合

- 0V時の一次換算値を100、±5V時の一次換算値を0、または50に設定してください。

c）1V～5V出力のトランスデューサを使用する場合

- 1Vおよび5Vの一次換算値を0、または50に設定してください。
- 一次換算値100は自動的に3Vと設定されます。
- データ入力ユニットMC－88本体において、該当入力に対するスケール変換指定スイッチ（SW6）のビットをONにしてください。

＜温度の場合＞

- 温度センサ（JIS　Pt100Ω　3線式）はトランスデューサを介さないで、データ入力ユニットに接続できます。
- 定数Aは「0000」、定数Bは「00100」と設定してください。

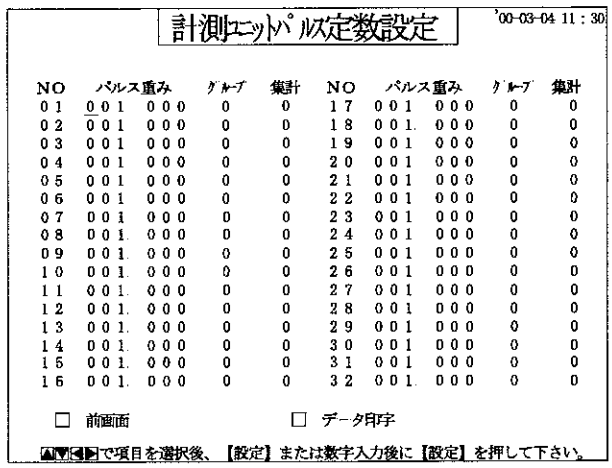
3. データ印字

- ▲▼◀▶キーで「データ印字」を選択し「設定」キーを押すと、「計測ユニットアナログ定数設定」で設定された内容をジャーナルプリンタで印字します。

4. 前画面

- ▲▼◀▶キーで「前画面」を選択し「設定」キーを押すと、「設定メニュー」画面に戻ります。

計測ユニットパルス定数設定



計測ユニットパルス定数設定　'00-03-04 11：30

NO	パルス重み	グループ	集計	NO	パルス重み	グループ	集計
01	001.000	0	0	17	001.000	0	0
02	001.000	0	0	18	001.000	0	0
03	001.000	0	0	19	001.000	0	0
04	001.000	0	0	20	001.000	0	0
05	001.000	0	0	21	001.000	0	0
06	001.000	0	0	22	001.000	0	0
07	001.000	0	0	23	001.000	0	0
08	001.000	0	0	24	001.000	0	0
09	001.000	0	0	25	001.000	0	0
10	001.000	0	0	26	001.000	0	0
11	001.000	0	0	27	001.000	0	0
12	001.000	0	0	28	001.000	0	0
13	001.000	0	0	29	001.000	0	0
14	001.000	0	0	30	001.000	0	0
15	001.000	0	0	31	001.000	0	0
16	001.000	0	0	32	001.000	0	0

□ 前画面　　□ データ印字

▲▼◀▶で項目を選択後、【設定】または数字入力後に【設定】を押して下さい。

ＭＣ－８８またはＫＵ－１６Ⅱからの入力パルスについて設定します。

1. パルス重み（設定後ただちに有効）

入力するパルスの１パルス当たりの１次側換算値を設定します。

「テン」キーで入力し、「設定」キーを押してください。

・パルス重み（kWh/pulse)＝合成変成比／パルス定数（kWh/pulse)

2. グループ（設定後ただちに有効）

グループ集計を行う場合に所属するグループを番号で指定します。

「テン」キーでグループ番号（０～５）を入力し、「設定」キーを押してください。

０：グループ集計を行いません。

１：グループ集計を行います。

（グループに所属できるフィーダ数に制限はありません。）

3. 集計（設定後ただちに有効）

グループ集計において、グループに所属している計量器のそれぞれの値を加算集計するか、減算集計するかを設定します。（減算→差の算出）

「テン」キーで設定内容（０：加算集計，１：減算集計）を入力し、「設定」キーを押してください。

・集計結果がマイナスになった場合は、“０”として処理されます。

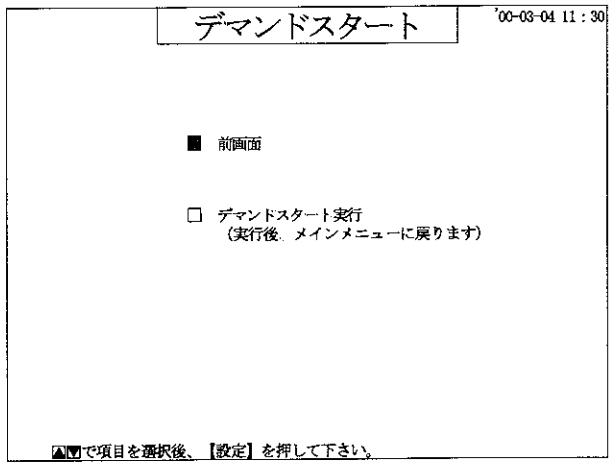
4. データ印字

・▲▼◀▶ キーで「データ印字」を選択し「設定」キーを押すと、「計測ユニットパルス定数設定」で設定された内容をジャーナルプリンタで印字します。

5. 前画面

・▲▼◀▶ キーで「前画面」を選択し「設定」キーを押すと、「設定メニュー」画面に戻ります。

デマンドスタート



1. デマンドスタート実行

デマンド計測・監視制御、および各フィーダの計測を開始します。

▲▼ キーで『デマンドスタート実行』を選択し、「設定」キーを押してください。

- 一度デマンドスタート操作、または遠方操作を行った後にこの操作を行うと、現デマンド時限のデマンド関連データはすべて消去します。
- 「デマンドスタート実行」を選択し「設定」キーを押すと、「メインメニュー」画面に戻ります。
- 日報出力時間，月報出力日を除いて、設定データが更新されます。

2. 前画面

- ▲▼ キーで「前画面」を選択し「設定」キーを押すと、「設定メニュー」画面に戻ります。

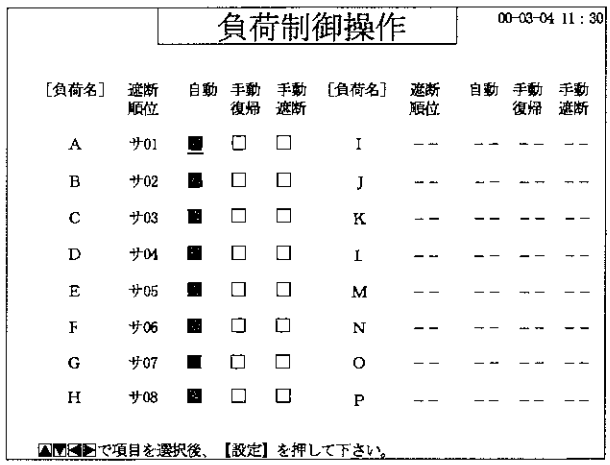
注意

- すべての設定が終了してから行ってください。
- 通常運転中にデマンドスタート操作を行うと、現在電力が「0」になり、デマンドスタート印字とデマンド印字を行います。
  また、任意同期と外部同期に設定しているときは、残り時間も30分にリセットされます。

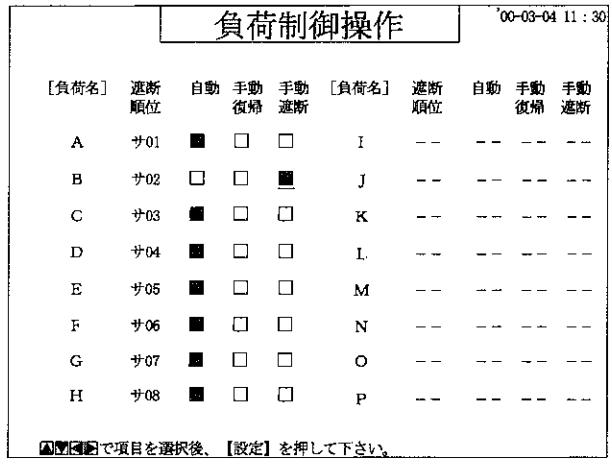
負荷の手動操作

- 制御用の負荷（８回路または１６回路）は、自動運転，手動復帰，手動遮断をそれぞれ個別に選択することができます。
- 手動操作により制御した場合には、自動的に復帰しません。必ず自動運転に戻す操作を行ってください。

1. 表面パネルの「負荷遮断」キーを押すと「負荷制御操作」画面が表示されます。


負荷制御操作
00-03-04 11 : 30
[負荷名] 遮断順位 自動 手動復帰 手動遮断 [負荷名] 遮断順位 自動 手動復帰 手動遮断
A サ01 ■ □ □ I -- -- -- --
B サ02 ■ □ □ J -- -- -- --
C サ03 ■ □ □ K -- -- -- --
D サ04 ■ □ □ L -- -- -- --
E サ05 ■ □ □ M -- -- -- --
F サ06 ■ □ □ N -- -- -- --
G サ07 ■ □ □ O -- -- -- --
H サ08 ■ □ □ P -- -- -- --
▲▼◀▶で項目を選択後、【設定】を押して下さい。

2. ▲▼ キーで、手動制御を行いたい負荷名にカーソルを移動し、◀▶ キーで、制御方法（『手動復帰』または『手動遮断』）にカーソルを移動してください。

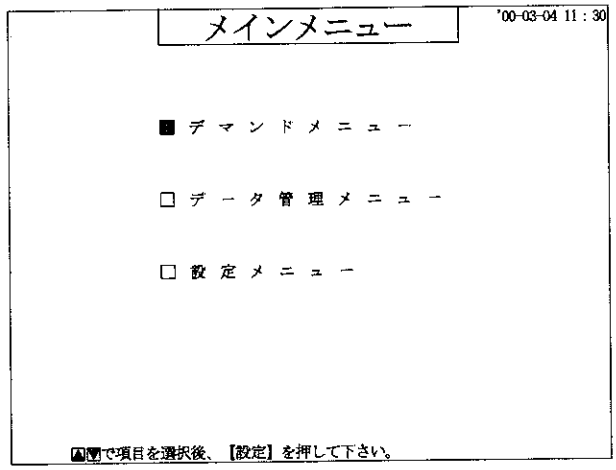

負荷制御操作
00-03-04 11 : 30
[負荷名] 遮断順位 自動 手動復帰 手動遮断 [負荷名] 遮断順位 自動 手動復帰 手動遮断
A サ01 ■ □ □ I -- -- -- --
B サ02 □ □ ■ J -- -- -- --
C サ03 ■ □ □ K -- -- -- --
D サ04 ■ □ □ L -- -- -- --
E サ05 ■ □ □ M -- -- -- --
F サ06 ■ □ □ N -- -- -- --
G サ07 ■ □ □ O -- -- -- --
H サ08 ■ □ □ P -- -- -- --
▲▼◀▶で項目を選択後、【設定】を押して下さい。

3.「設定」キーを押すことにより、選択した制御方法が実行されます。

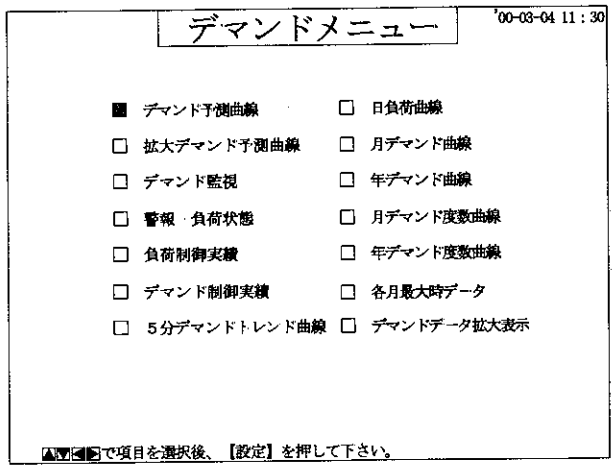
画面表示

操作手順

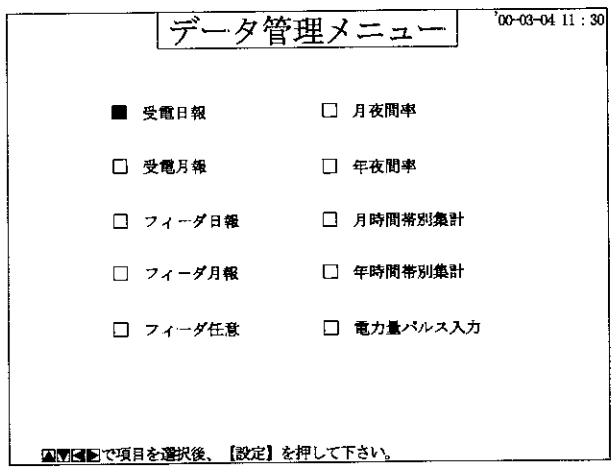
1.「メニュー」キーを押して『メインメニュー』画面にしてください。



2. ▲▼ キーで、デマンド管理に関するデータを見たいときに『デマンドメニュー』、フィーダ管理に関するデータを見たい時には『データ管理メニュー』を選択して、「設定」キーを押してください。
「デマンドメニュー」、または「データ管理メニュー」画面が表示されます。
＜デマンドメニュー＞



＜データ管理メニュー＞



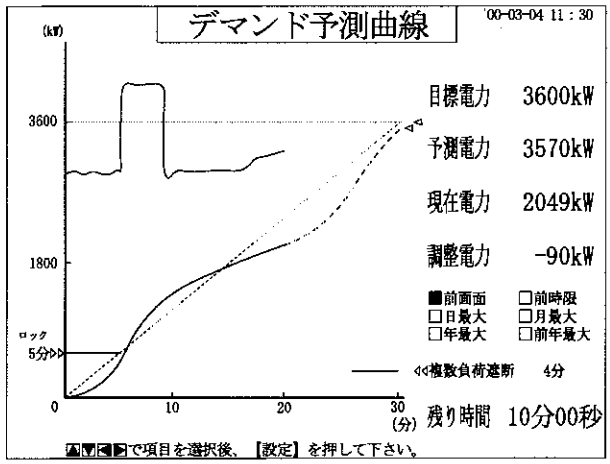
3. ▲▼ キーで見たい項目を選択し、「設定」キーを押してください。

表示内容

デマンドメニュー（「メニュー」キー→『メインメニュー』→『デマンドメニュー』）

デマンド予測曲線

現在のデマンド予測曲線を表示します。



グラフ右端の◁印は、左寄りが日最大デマンド値を、右寄りが月最大デマンド値を表します。

・右下の選択項目と表示内容は次のとおりです。

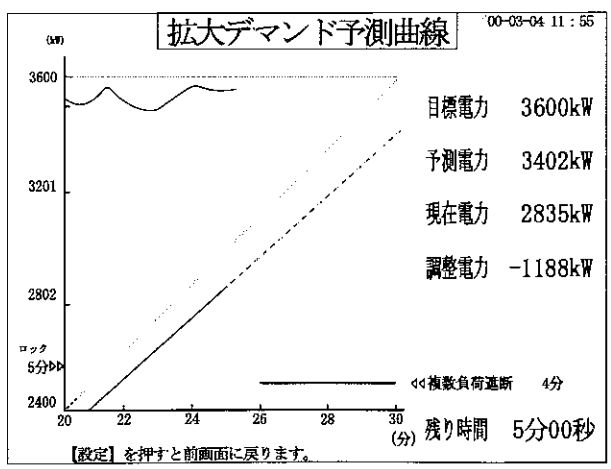
「前時限」	：前時限のデマンド曲線
「日最大」	：前日報出力時から前時限までの最大デマンド曲線
「月最大」	：前月報出力日から前時限までの最大デマンド曲線
「年最大」	：前集計月（年データ更新時）から前時限までの最大デマンド曲線
「前年最大」	：前集計月までの１年間での最大デマンド曲線

・「前画面」を選択すると、「デマンドメニュー」画面を表示に戻ります。

拡大デマンド曲線

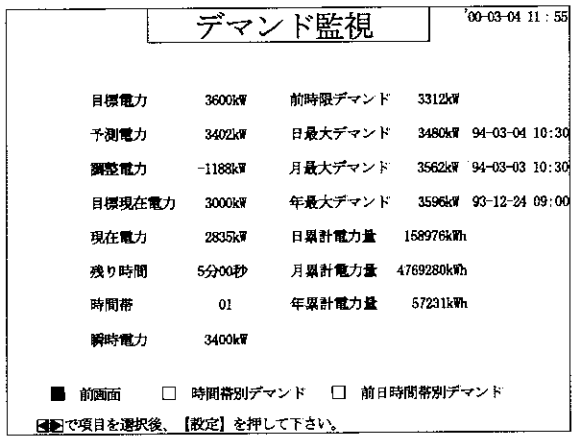
現在のデマンド予測曲線の残り３分の１時限分を拡大表示します。

（例：３０分のデマンド時限の場合、２０分目～終了時を表示）



デマンド監視

現時点までのデマンド監視データを表示します。

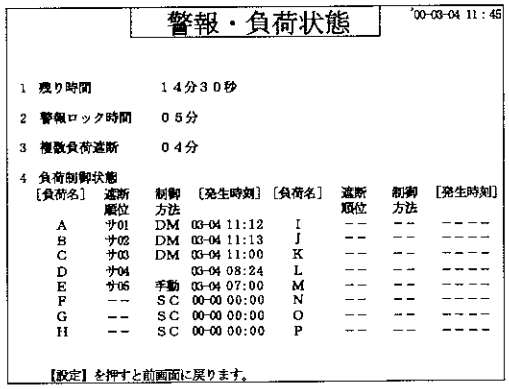


「時間帯別デマンド」を選択すると、前日報出力時から前正時までの時間帯別のデマンド監視データを表示します。(時間帯別管理指定が「あり」の場合)
「前日時間帯別デマンド」を選択すると、前日の時間帯別のデマンド監視データを表示します。(時間帯別管理指定が「あり」の場合)

「前画面」を選択すると、「デマンドメニュー」画面に戻ります。

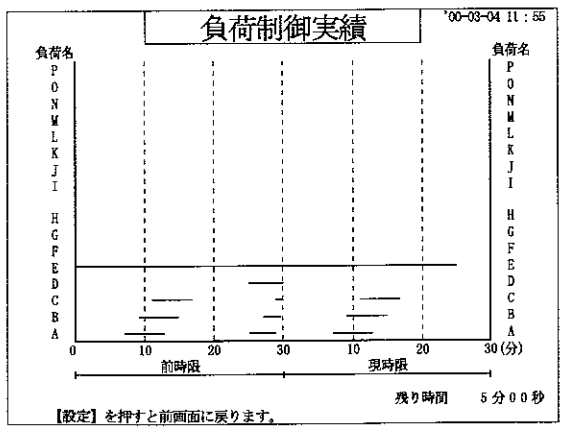
警報・負荷状態

現在の負荷の状態を表示します。


警報・負荷状態
'00-03-04 11:45
1 残り時間 14分30秒
2 警報ロック時間 05分
3 複数負荷遮断 04分
4 負荷制御状態
[負荷名] 遮断順位 制御方法 [発生時刻] [負荷名] 遮断順位 制御方法 [発生時刻]
A サ01 DM 03-04 11:12 I -- -- ----
B サ02 DM 03-04 11:13 J -- -- ----
C サ03 DM 03-04 11:00 K -- -- ----
D サ04 03-04 08:24 L -- -- ----
E サ05 手動 03-04 07:00 M -- -- ----
F -- SC 00-00 00:00 N -- -- ----
G -- SC 00-00 00:00 O -- -- ----
H -- SC 00-00 00:00 P -- -- ----
【設定】を押すと前画面に戻ります。

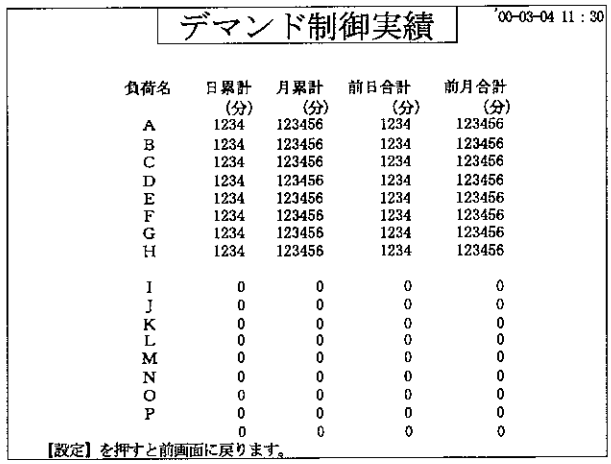
負荷制御実績

前時限と現時限の負荷制御の実績をバー表示します。



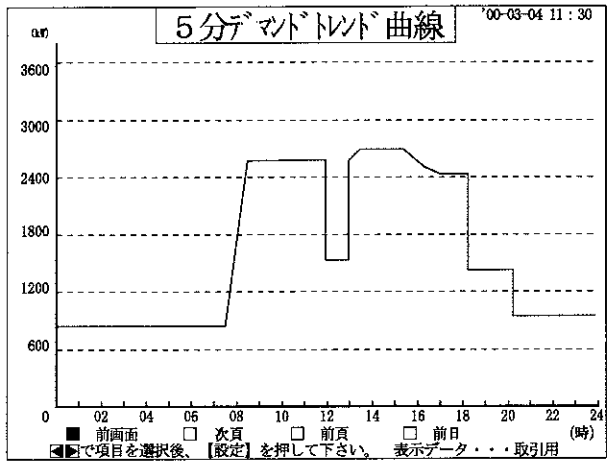
デマンド制御実績

各負荷ごとに日・月累計，前日・前月合計の制御時間を表示します。



５分デマンドトレンド曲線

前日報集計時から現在までの取引用計器をはじめ、本体に直接入力される発信装置付電力量計による５分ごとの平均デマンドをグラフで表示します。

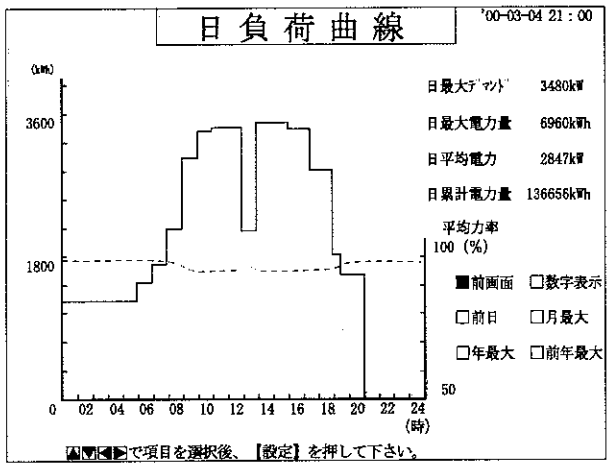


「次頁」：パルス１，パルス２，パルス３，パルス４，取引用の順に、５分デマンドトレンド曲線
「前頁」：パルス４，パルス３，パルス２，パルス１，取引用の順に、５分デマンドトレンド曲線
「前日」：表示している電力量計における前日の５分デマンドトレンド曲線

・「前画面」を選択すると「デマンドメニュー」画面（「前日５分デマンドトレンド曲線」を表示している場合には「５分デマンドトレンド曲線」）に戻ります。

日負荷曲線

前日報出力時から前正時までの日負荷をグラフで表示します。

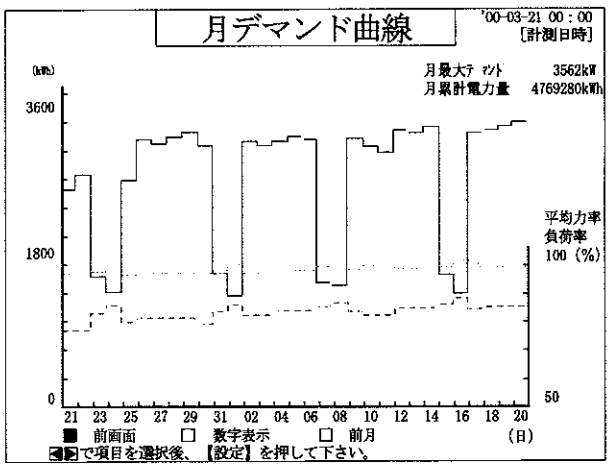


「前日」　：前日の日負荷曲線
「月最大」：前月報出力日から前日までの月最大デマンド値の日負荷曲線
「年最大」：前集計月から前日までの年最大デマンド値の日負荷曲線
「前年最大」：前集計月までの１年間での年最大デマンド値の日負荷曲線
「数字表示」：表示している日負荷曲線の日負荷データ

●「前画面」を選択すると、「デマンドメニュー」画面に戻ります。

月デマンド曲線

前月報出力日から前日までの月デマンド曲線をグラフで表示します。

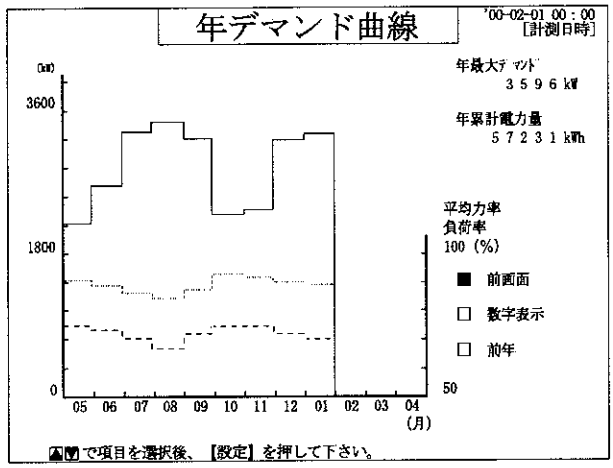


「数字表示」：表示している月デマンド曲線の月デマンドデータ
「前　月」　：前月の月デマンド曲線

「前画面」を選択すると、「デマンドメニュー」画面に戻ります。
（「前月デマンド曲線」を表示している場合には「月デマンド曲線」画面を表示します。）

年デマンド曲線

前集計月から前日までの年デマンド曲線をグラフで表示します。



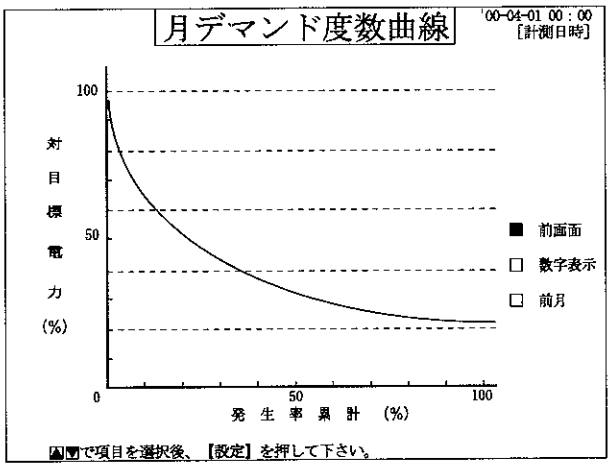
「数字表示」：表示している年デマンド曲線の年デマンドデータ
「前　年」　：前集計月までの１年間の年デマンド曲線

・「前画面」を選択すると、「デマンドメニュー」画面に戻ります。
（「前年デマンド曲線」を表示している場合には「年デマンド曲線」画面を表示します。）

月デマンド度数曲線

前月報出力日から直前の日報までの、各デマンド時限における目標電力に対するデマンド値の到達率をグラフで表示します。

到達(超過)率が高い時限の発生回数の総回数に対する割合を見ます。



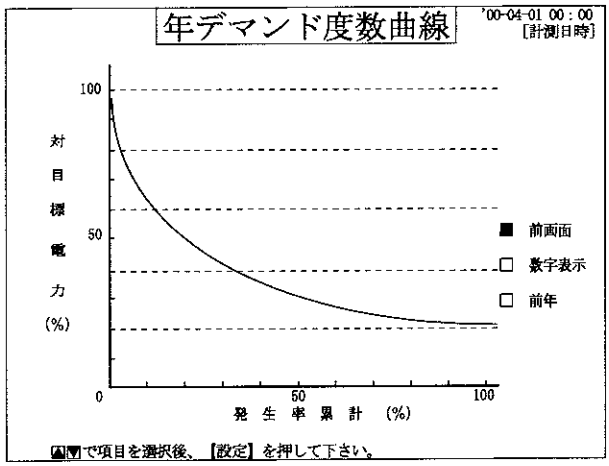
「数字表示」：表示している月デマンド度数曲線の月デマンド度数データ
「前　月」　：前月の月デマンド度数曲線

・「前画面」を選択すると、「デマンドメニュー」画面に戻ります。

年デマンド度数曲線

前集計月から前日までの各デマンド時限における目標電力に対するデマンド値の到達率をグラフで表示します。

到達(超過)率が高い時限の発生回数の総回数に対する割合を見ます。

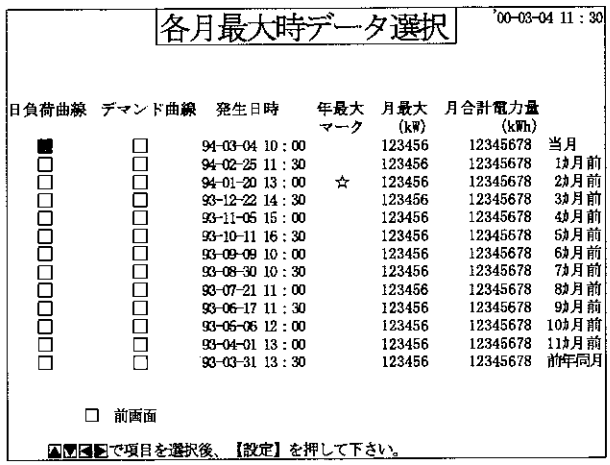


「数字表示」：表示している年デマンド度数曲線の年デマンド度数データ
「前　年」　：前集計月までの１年間の年デマンド度数曲線

・「前画面」を選択すると、「デマンドメニュー」画面に戻ります。

各月最大時データ

カーソルで選択することにより、当月と過去１年における月最大デマンド値の発生時の日負荷曲線と、デマンド曲線を表示します。



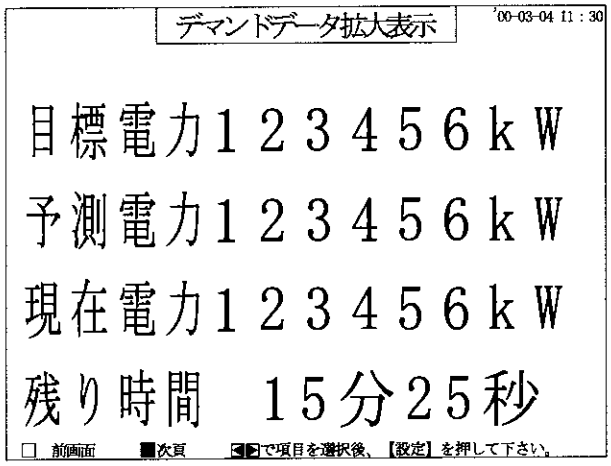
「月最大日負荷曲線」の画面において「数字表示」を選択すると、表示している月最大日負荷曲線の月最大日負荷データを数字で表示します。

・「前画面」を選択すると、「デマンドメニュー」画面に戻ります。

デマンドデータ拡大表示

現時点での目標電力、予測電力、調整電力、残り時間を拡大文字で表示します。

・「次頁」を選択すると、調整電力→現在電力と変わります。



「設定」キーで以上の動作を繰り返します。(現在電力→調整電力→現在電力……)

・「前画面」を選択すると、「デマンドメニュー」画面に戻ります。

データ管理メニュー（「メニュー」キー→『メインメニュー』→『データ管理メニュー』）

受電日報

前日報出力時から前正時までの状況、および過去１０日分の受電日報データを選択して表示します。⇨「受電日報選択」画面で選択

受電日報 (1/2)　'00-04-01 00：00 [計測日時]

時間帯	時刻	有効電力量 (kWh)	無効電力量 (kvarh)	デマンド1 (kW)	デマンド2 (kW)	対目標 (%)
N	01：00	123456	123456	123456	123456	100.0
N	02：30	123456	123456	123456	123456	100.0
N	03：00	123456	123456	123456	123456	100.0
N	04：00	123456	123456	123456	123456	100.0
SOP	05：00	123456	123456	123456	123456	100.0
OP	06：00	123456	123456	123456	123456	100.0
OP	07：00	123456	123456	123456	123456	100.0
OP	08：00	123456	123456	123456	123456	100.0
P	09：00	123456	123456	123456	123456	100.0
P	10：00	123456	123456	123456	123456	100.0
P	11：00	123456	123456	123456	123456	100.0
P	12：00	123456	123456	123456	123456	100.0

日最大 123456kW　日累計 123456kWh　平均力率 100.0%
平均電力 123456kW　負荷率 100.0%　年夜間率 100.0%

■ 前画面　□ 次頁　□ 前頁

◀▶で項目を選択後、【設定】を押して下さい。

デマンド1：1時間のうちの前半30分のデマンド時限
デマンド2：後半30分の時限

- 「次頁」「前頁」を選択することにより、前半１２時間分と後半１２時間分とを切り替えて表示します。
- 「データ印字」を選択すると、表示している日の受電日報をジャーナルプリンタで印字します。

- 「受電日報選択」画面で「前画面」を選択すると、「データ管理メニュー」画面に戻ります。

受電月報

前月報出力日から前日まで、および1カ月前の受電月報データを選択して表示します。

受電月報 (1/2)　'00-04-01 00：00 [計測日時]

日付 (月)	(日)	日最大 (kW)	有効電力量 (kWh)	無効電力量 (kvarh)	平均力率 (%)	負荷率 (%)
3	1	123456	12345678	12345678	100.0	100.0
	2	123456	12345678	12345678	100.0	100.0
	3	123456	12345678	12345678	100.0	100.0
	4	123456	12345678	12345678	100.0	100.0
	5	123456	12345678	12345678	100.0	100.0
	6	123456	12345678	12345678	100.0	100.0
	7	123456	12345678	12345678	100.0	100.0
	8	123456	12345678	12345678	100.0	100.0
	9	123456	12345678	12345678	100.0	100.0
	10	123456	12345678	12345678	100.0	100.0
	11	123456	12345678	12345678	100.0	100.0
	12	123456	12345678	12345678	100.0	100.0
	13	123456	12345678	12345678	100.0	100.0
	14	123456	12345678	12345678	100.0	100.0
	15	123456	12345678	12345678	100.0	100.0
	16	123456	12345678	12345678	100.0	100.0

月最大デマンド 123456kW
月累計電力量 12345678kWh
月平均力率 100.0%
月平均電力 123456kW
月負荷率 100.0%
年夜間率 100.0%

■ 前画面　□ 次頁　□ 前頁　□ 前月

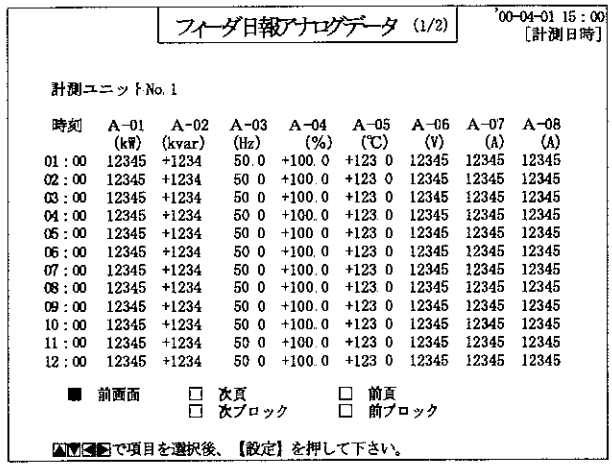
◀▶で項目を選択後、【設定】を押して下さい。

- 「次頁」「前頁」を選択することにより、前半１６日分と後半１５日分とを切り替えて表示します。
- 「前月」を選択すると、前月の受電月報を表示します。
- 「データ印字」を選択すると、表示している月の受電月報をジャーナルプリンタで印字します。

- 「前画面」を選択すると、「データ管理メニュー」画面（「前受電月報」を表示している場合には「受電月報」画面）に戻ります。

フィーダ日報

前日報出力時から前正時までと、過去１０日分のアナログデータとパルスデータを選択して表示します。⇨「フィーダ日報選択」画面で選択



フィーダ日報アナログデータ (1/2)

'00-04-01 15 : 00
[計測日時]

計測ユニットNo. 1

時刻	A-01 (kW)	A-02 (kvar)	A-03 (Hz)	A-04 (%)	A-05 (℃)	A-06 (V)	A-07 (A)	A-08 (A)
01 : 00	12345	+1234	50.0	+100.0	+123.0	12345	12345	12345
02 : 00	12345	+1234	50.0	+100.0	+123.0	12345	12345	12345
03 : 00	12345	+1234	50.0	+100.0	+123.0	12345	12345	12345
04 : 00	12345	+1234	50.0	+100.0	+123.0	12345	12345	12345
05 : 00	12345	+1234	50.0	+100.0	+123.0	12345	12345	12345
06 : 00	12345	+1234	50.0	+100.0	+123.0	12345	12345	12345
07 : 00	12345	+1234	50.0	+100.0	+123.0	12345	12345	12345
08 : 00	12345	+1234	50.0	+100.0	+123.0	12345	12345	12345
09 : 00	12345	+1234	50.0	+100.0	+123.0	12345	12345	12345
10 : 00	12345	+1234	50.0	+100.0	+123.0	12345	12345	12345
11 : 00	12345	+1234	50.0	+100.0	+123.0	12345	12345	12345
12 : 00	12345	+1234	50.0	+100.0	+123.0	12345	12345	12345

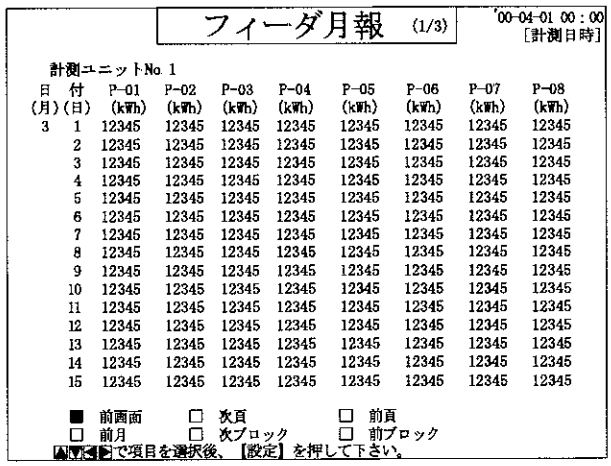
■ 前画面　□ 次頁　□ 前頁
□ 次ブロック　□ 前ブロック

▲▼◀▶で項目を選択後、【設定】を押して下さい。

- 「次頁」「前頁」を選択することにより、前半１２時間分、後半１２時間分、グループ別集計（パルスのみ）のデータを切り替えて表示します。
- 「次ブロック」「前ブロック」を選択することにより、計測ユニットNo.(入力点数８点ずつ)を切り替えて表示します。
- 「フィーダ日報選択」画面で「前画面」を選択すると、「データ管理メニュー」画面（「フィーダ日報アナログデータ」「フィーダ日報パルスデータ」を表示している場合には「フィーダ日報選択」画面）に戻ります。

フィーダ月報

前月報出力日から前日報までと、前月分のパルスデータを選択して表示します。



フィーダ月報 (1/3)

'00-04-01 00 : 00
[計測日時]

計測ユニットNo. 1

日付 (月)	(日)	P-01 (kWh)	P-02 (kWh)	P-03 (kWh)	P-04 (kWh)	P-05 (kWh)	P-06 (kWh)	P-07 (kWh)	P-08 (kWh)
3	1	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345
	2	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345
	3	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345
	4	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345
	5	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345
	6	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345
	7	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345
	8	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345
	9	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345
	10	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345
	11	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345
	12	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345
	13	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345
	14	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345
	15	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345	12345

■ 前画面　□ 次頁　□ 前頁
□ 前月　□ 次ブロック　□ 前ブロック

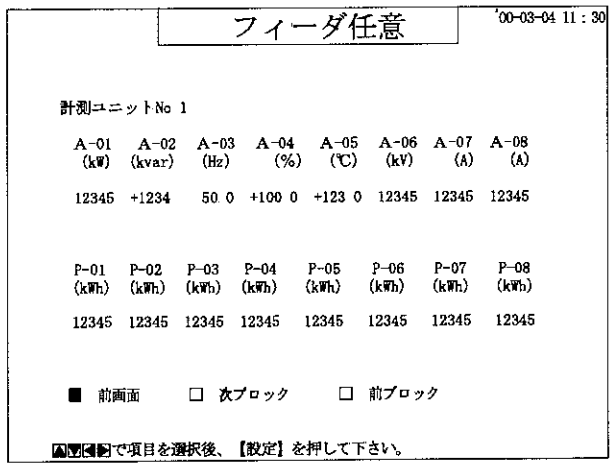
▲▼◀▶で項目を選択後、【設定】を押して下さい。

- 「次頁」「前頁」を選択することにより、前半１６日分，後半１５日分，グループ別集計のデータを切り替えて表示します。
- 「次ブロック」「前ブロック」を選択することにより、計測ユニットNo.(入力点数８点ずつ)を切り替えて表示します。
- 「前月」を選択すると、前月分のフィーダ月報を表示します。

- 「前画面」を選択すると、「データ管理メニュー」画面に戻ります。

フィーダ任意

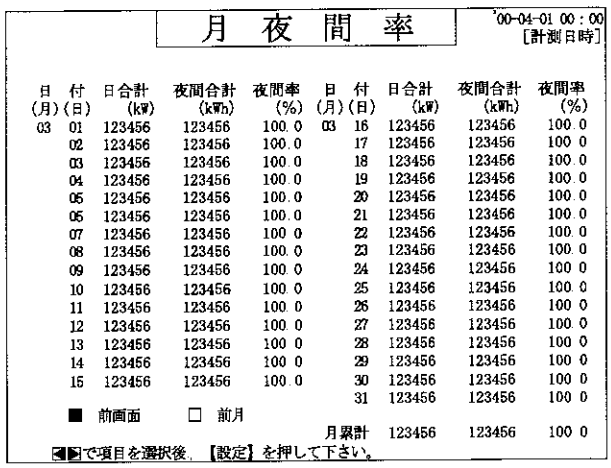
現時点のアナログデータとパルスデータを計測ユニットごとに表示します。



- 「次ブロック」「前ブロック」を選択することにより、計測ユニット Noを切り替えて表示します。
- 「前画面」を選択すると、「データ管理メニュー」画面に戻ります。

月夜間率

前月報出力日から前日報までと前月分の月夜間率データを選択により表示します。

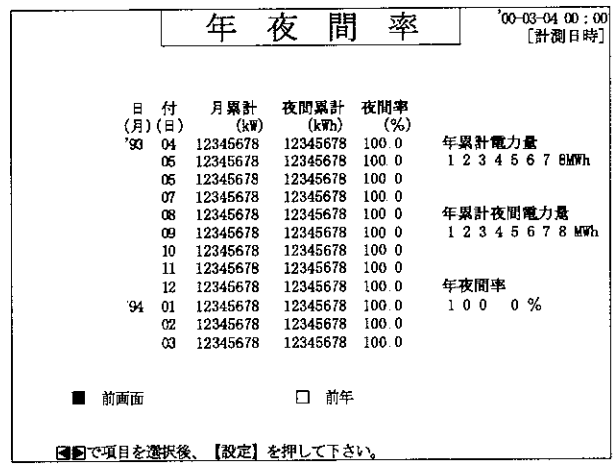


夜間：「時間帯設定１」で設定した夜間（N）およびＥＸ１～ＥＸ６

- 「前月」を選択すると、前月分の月夜間率データを表示します。
- 「前画面」を選択すると、「データ管理メニュー」画面に戻ります。

年夜間率

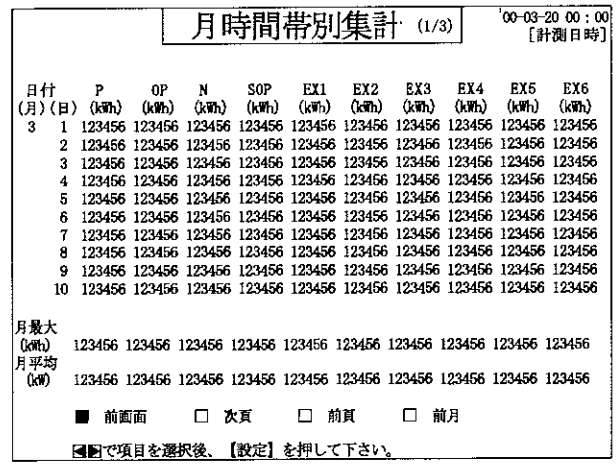
前集計月から前日報までと前年の年夜間率データを選択により表示します。



・「前年」を選択すると前年分の年夜間率データを表示します。
・「前画面」を選択すると、「データ管理メニュー」画面に戻ります。

月時間帯別集計

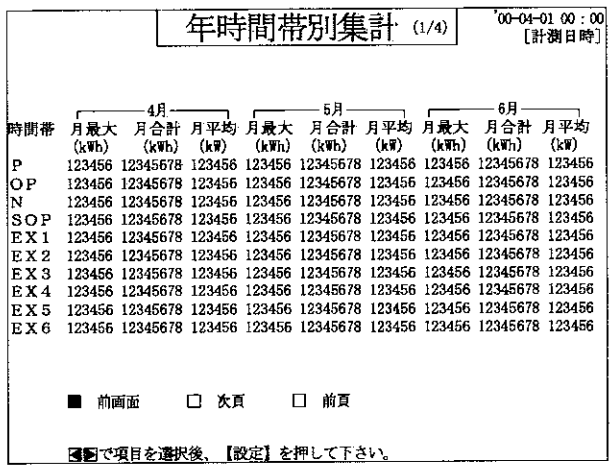
前月報出力日から前日報までと前月の各時間帯別の集計データを選択して、１０日ごと（最後の画面は月報出力日まで）に表示します。



・「次頁」「前頁」を選択することにより、前月報出力日から最初の１０日分、次の１０日分、月報出力日までの各時間帯別集計のデータを切り替えて表示します。
・「前月」を選択すると、前月分の時間帯別集計のデータを表示します。
・「前画面」を選択すると、「データ管理メニュー」画面（「前月時間帯別集計」を表示している場合には「時間帯別集計」画面）に戻ります。

年時間帯別集計

前集計月から前月報までの各時間帯別の集計データを選択して、３カ月ごとに表示します。


年時間帯別集計 (1/4)

'00-04-01 00 : 00
[計測日時]

時間帯	4月 月最大 (kWh)	4月 月合計 (kWh)	4月 月平均 (kW)	5月 月最大 (kWh)	5月 月合計 (kWh)	5月 月平均 (kW)	6月 月最大 (kWh)	6月 月合計 (kWh)	6月 月平均 (kW)
P	123456	12345678	123456	123456	12345678	123456	123456	12345678	123456
OP	123456	12345678	123456	123456	12345678	123456	123456	12345678	123456
N	123456	12345678	123456	123456	12345678	123456	123456	12345678	123456
SOP	123456	12345678	123456	123456	12345678	123456	123456	12345678	123456
EX1	123456	12345678	123456	123456	12345678	123456	123456	12345678	123456
EX2	123456	12345678	123456	123456	12345678	123456	123456	12345678	123456
EX3	123456	12345678	123456	123456	12345678	123456	123456	12345678	123456
EX4	123456	12345678	123456	123456	12345678	123456	123456	12345678	123456
EX5	123456	12345678	123456	123456	12345678	123456	123456	12345678	123456
EX6	123456	12345678	123456	123456	12345678	123456	123456	12345678	123456

■ 前画面　□ 次頁　□ 前頁

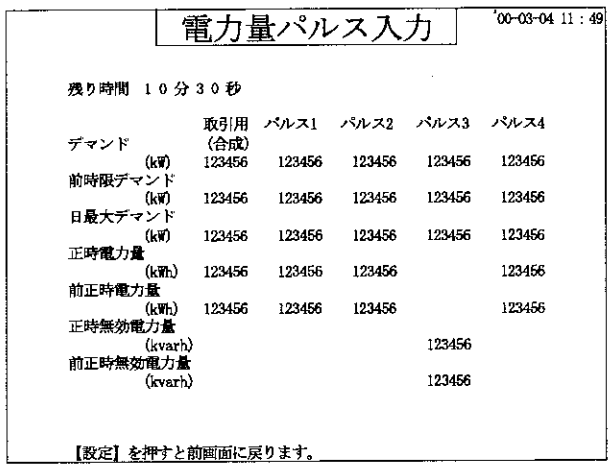
◀▶で項目を選択後、【設定】を押して下さい。

「次頁」「前頁」を選択することにより、前集計日から最初の３カ月分、次の３カ月分、その次の３カ月分、最後の３カ月分の各時間帯別集計のデータを切り替えて表示します。

・「前画面」を選択すると、「データ管理メニュー」画面を表示します。

電力量パルス入力

現時点における、本体に直接入力されている発信装置付電力量計のパルス入力データを表示します。


電力量パルス入力

'00-03-04 11 : 49

残り時間　１０分３０秒

	取引用 (合成)	パルス1	パルス2	パルス3	パルス4
デマンド (kW)	123456	123456	123456	123456	123456
前時限デマンド (kW)	123456	123456	123456	123456	123456
日最大デマンド (kW)	123456	123456	123456	123456	123456
正時電力量 (kWh)	123456	123456	123456		123456
前正時電力量 (kWh)	123456	123456	123456		123456
正時無効電力量 (kvarh)				123456	
前正時無効電力量 (kvarh)				123456	

【設定】を押すと前画面に戻ります。

・「取引用」には、デマンド合成を行っている場合には合成値を、行っていない場合には「パルス１」と同じデータが表示されます。

印字例（ジャーナルプリンタ）

同期関係印字

```
//////////////////////
/    SUPERMAX 606    /
/    ﾃﾞﾝｹﾞﾝﾄｳﾆｭｳ      /
//////////////////////
```

(1) 電源投入印字

- 初期状態の電源投入時に印字します。
- 停電復帰時はこの印字はしません。

```
[ ｼﾞｺｸ ｾｯﾃｲ ]
1997年06月29日（日）14時00分
```

(2) 時刻設定印字

- 時刻（時分）を設定（修正）した時、印字します。

```
[ ﾃｲﾃﾞﾝ ｼﾞｶﾝ ]
1997年07月17日（木）09時16分54秒 ｶﾗ
1997年07月17日（木）09時17分04秒 ﾏﾃﾞ
```

(3) 停・復電印字

- 停電時に停電時刻と復電時刻を印字します。

```
*****ﾋｶﾞﾜﾘ ｲﾝｼﾞ*****
1997年09月05日（金）00時00分
```

(4) 日変わり印字

- 毎回、日変わり（００時００分）があると印字します。ただし、環境設定において日変わり印字設定を“あり”とされている場合に印字します。

デマンド関係印字

```
[ ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ ｽﾀｰﾄ ]
1997年06月29日（日）15時28分
```

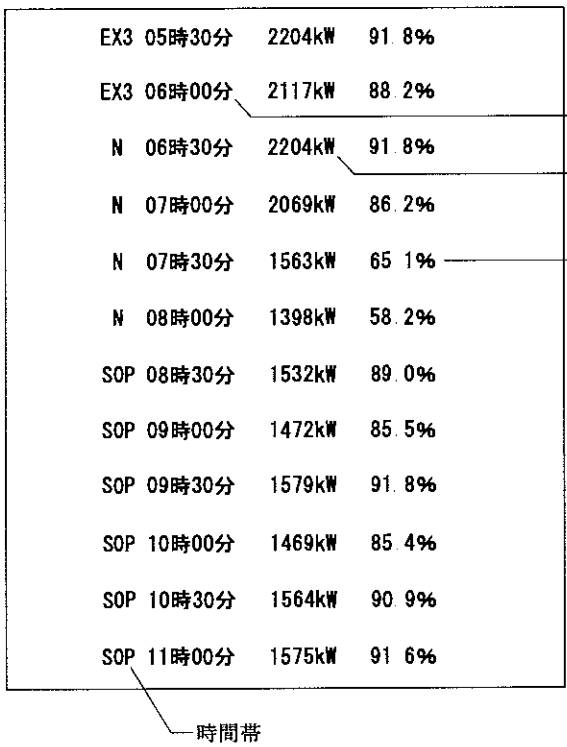
(1) デマンド開始印字

- デマンドスタート操作をした時にその日時を印字します。

```
[ ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ ﾄﾞｳｷ ]
1997年09月01日（月）00時17分
```

(2) デマンド外部同期印字

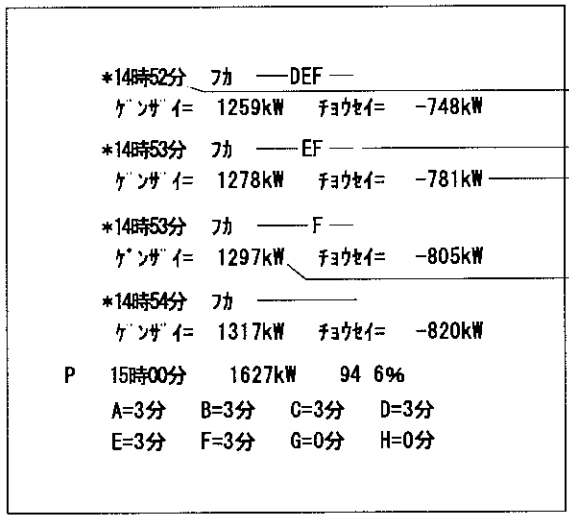
- 外部よりデマンド開始をした時にその日時を印字します。



(3) デマンド印字

・デマンド印字時間内にデマンド時限が終了した時に印字します。

・時間帯管理を行っている時は、デマンドが終了した時間帯を印字します。
時間帯：P, OP, N, SOP, EX1 ～ EX6



(4) 制御印字

・デマンド印字時、時間内に負荷遮断が発生した時に印字します。

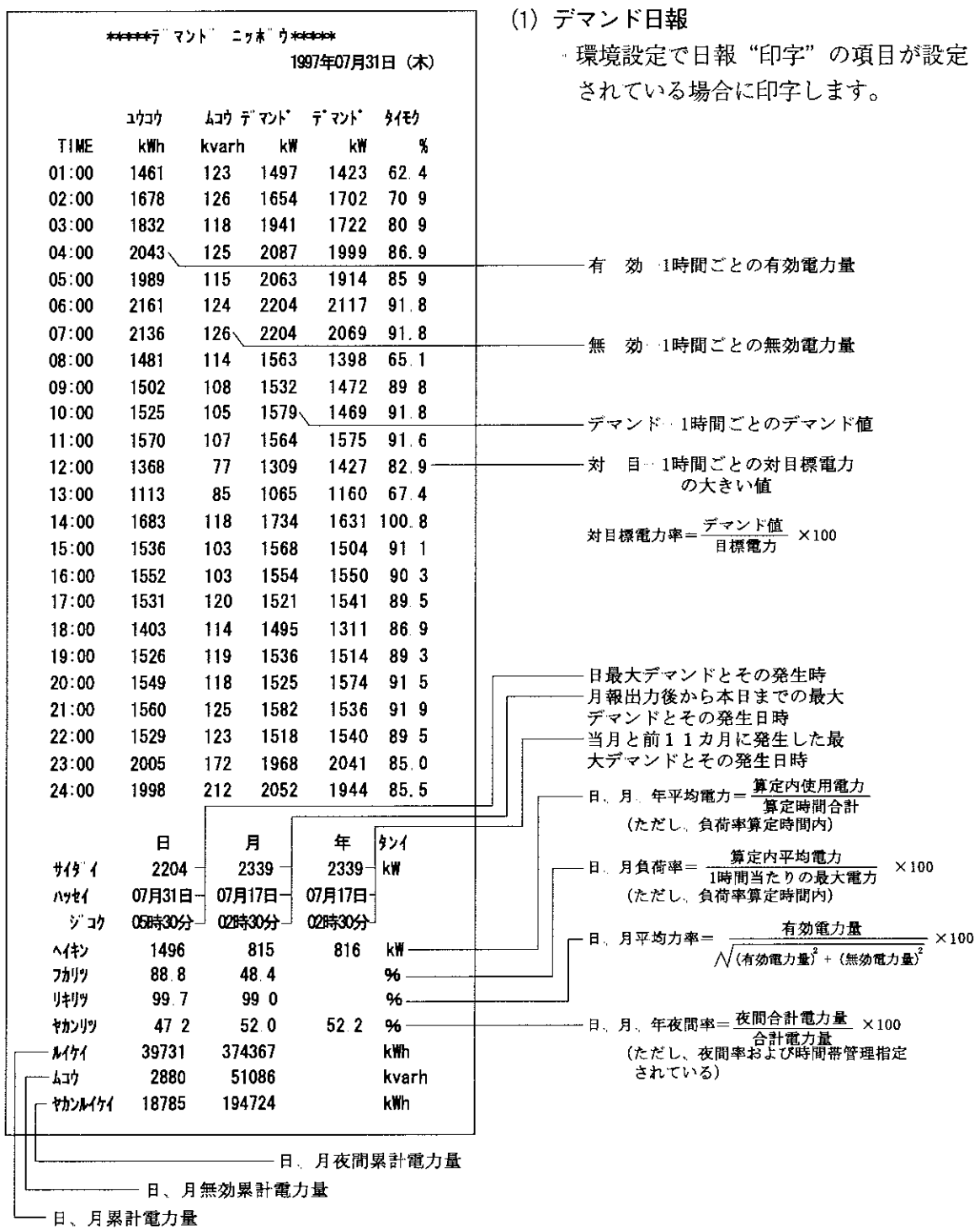
日報印字

・設定された時刻に１日分のデータを印字します。
・あらかじめ環境設定で印字するプリンタを選択してください。

ジャーナルプリンタでの印字例

(1) デマンド日報

・環境設定で日報“印字”の項目が設定されている場合に印字します。



＊ ﾃﾞﾝﾘｮｸﾘｮｳ ﾊﾟﾙｽ ﾆｭｳﾘｮｸ ＊

TIME	ﾊﾟﾙｽ1	ﾊﾟﾙｽ2	ﾊﾟﾙｽ3	ﾊﾟﾙｽ4
	kWh	kvarh	kWh	kWh
01:00	1461	123	299	190
02:00	1678	126	294	189
03:00	1832	118	277	178
04:00	2043	125	290	186
05:00	1989	115	314	195
06:00	2161	124	344	212
07:00	2136	126	342	210
08:00	1481	114	261	145
09:00	1502	108	277	157
10:00	1525	105	311	169
11:00	1570	107	329	176
12:00	1368	77	239	128
13:00	1113	85	285	149
14:00	1683	118	355	213
15:00	1536	103	334	210
16:00	1552	103	349	228
17:00	1531	120	367	237
18:00	1403	114	342	222
19:00	1526	119	357	225
20:00	1549	118	358	234
21:00	1560	125	381	245
22:00	1529	123	370	233
23:00	2005	172	454	306
24:00	1998	212	511	350
日ｺﾞｳｹｲ	39731	2880	8040	4987
月ﾙｲｹｲ	374367	51086	83683	70466
ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ(kW)				
日ｻｲﾀﾞｲ	2204	217	525	368
月ｻｲﾀﾞｲ	2339	396	544	466

(2) 電力量パルス入力

・本体ＳＭ６０６の電力量パルス入力４点の日報データです。

・あらかじめ環境設定で電力量パルス入力“印字”の項目が設定されている場合に印字します。

1時間ごとの各パルス入力の電力量

日合計：本日の合計電力量

月累計：月報出力後から本日までの累計

日最大：本日の発生した最大デマンド値

月最大：月報出力後から本日までの最大デマンド値

＊ ｼﾞｶﾝﾀｲﾍﾞﾂ ｼｭｳｹｲ ＊

	ﾓｸﾋｮｳ	日ｻｲﾀﾞｲ	月ｻｲﾀﾞｲ	日ｺﾞｳｹｲ	日ﾍｲｷﾝ
	kW	kW	kW	kWh	kW
P	1720	1734	1734	4771	1590
OP	1800	0	0	0	0
N	2400	2204	2323	9081	1816
SOP	1720	1582	1651	16175	1470
EX1	1720	0	1588	0	0
EX2	2400	0	2130	0	0
EX3	2400	2204	2339	9703	1940
EX4	2400	0	0	0	0
EX5	2400	0	0	0	0
EX6	2400	0	0	0	0

(3) 時間帯別集計

・時間帯管理指定がある場合に印字します。

目標：時間帯ごとの目標電力

日最大：本日の時間帯ごとの最大デマンド値

月最大：月報出力後から本日までの時間帯ごとの最大デマンド値

日合計：本日の合計電力量

日平均：本日の平均電力

＊ ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ ｾｲｷﾞｮ ｼﾞｯｾｷ ＊

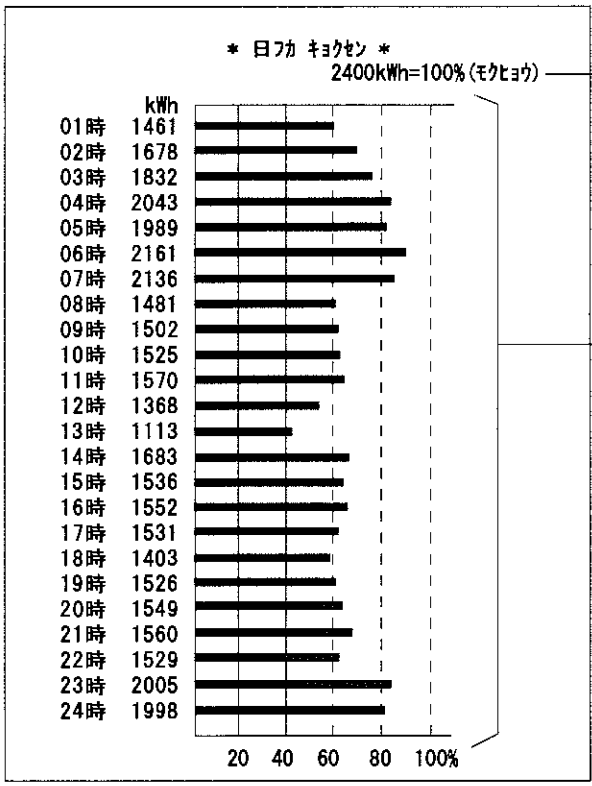
ﾌｶﾒｲ	日ｺﾞｳｹｲ	月ﾙｲｹｲ
A	0分	17分
B	0分	17分
C	3分	20分
D	3分	20分
E	0分	17分
F	0分	17分
G	0分	17分
H	0分	17分

日合計：本日のデマンド負荷制御の実績合計時間

月累計：月報出力後から本日までのデマンド負荷制御の実績累計時間

(4) デマンド制御実績

・１分以上のデマンド制御があった場合に印字します。

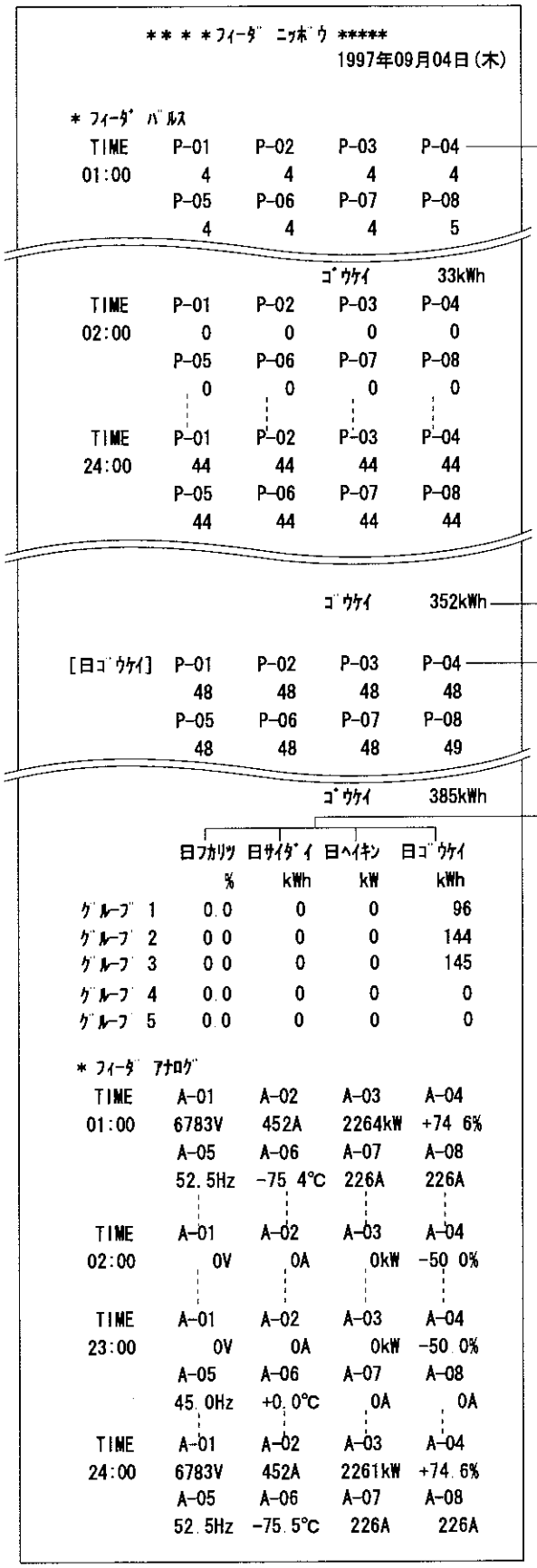


(5) 日負荷曲線

・環境設定で日負荷曲線“印字”の項目が設定されている場合に印字します。

目標電力を100%として扱います。
（時間帯管理の場合、一番大きい目標電力とします。）

１時間ごとの電力量とバーグラフ
（バーグラフは110%が最大です。）



```
        ＊＊＊＊ﾌｨｰﾀﾞｰ ﾆｯﾎﾟｳ *****
                              1997年09月04日(木)

＊ ﾌｨｰﾀﾞｰ ﾊﾟﾙｽ
  TIME     P-01     P-02     P-03     P-04
 01:00        4        4        4        4
          P-05     P-06     P-07     P-08
             4        4        4        5

                              ｺﾞｳｹｲ    33kWh
  TIME     P-01     P-02     P-03     P-04
 02:00        0        0        0        0
          P-05     P-06     P-07     P-08
             0        0        0        0
          :        :        :        :
  TIME     P-01     P-02     P-03     P-04
 24:00       44       44       44       44
          P-05     P-06     P-07     P-08
            44       44       44       44

                              ｺﾞｳｹｲ    352kWh

[日ｺﾞｳｹｲ] P-01     P-02     P-03     P-04
            48       48       48       48
          P-05     P-06     P-07     P-08
            48       48       48       49

                              ｺﾞｳｹｲ    385kWh

          日ﾌｶﾘﾂ   日ｻｲﾀﾞｲ   日ﾍｲｷﾝ   日ｺﾞｳｹｲ
             %        kWh       kW       kWh
ｸﾞﾙｰﾌﾟ 1    0.0        0        0       96
ｸﾞﾙｰﾌﾟ 2    0.0        0        0      144
ｸﾞﾙｰﾌﾟ 3    0.0        0        0      145
ｸﾞﾙｰﾌﾟ 4    0.0        0        0        0
ｸﾞﾙｰﾌﾟ 5    0.0        0        0        0

＊ ﾌｨｰﾀﾞｰ ｱﾅﾛｸﾞ
  TIME     A-01     A-02     A-03     A-04
 01:00    6783V     452A    2264kW   +74.6%
          A-05     A-06     A-07     A-08
         52.5Hz   -75.4℃    226A     226A
          :        :        :        :
  TIME     A-01     A-02     A-03     A-04
 02:00      0V       0A       0kW     -50.0%
          :        :        :        :
  TIME     A-01     A-02     A-03     A-04
 23:00      0V       0A       0kW     -50.0%
          A-05     A-06     A-07     A-08
         45.0Hz   +0.0℃      0A       0A
          :        :        :        :
  TIME     A-01     A-02     A-03     A-04
 24:00    6783V     452A    2261kW   +74.6%
          A-05     A-06     A-07     A-08
         52.5Hz   -75.5℃    226A     226A
```

(6) フィーダ日報

・環境設定でフィーダ日報“印字”の項目が設定されている場合に印字します。

・この印字は計測ユニットＭＣ－８８１台の場合です。

１時間ごとの各パルス入力の電力量と全パルス入力の合計電力量

日合計…本日の各パルス入力の日合計電力量と全パルス入力の日合計電力量

・計測ユニットパルス定数設定でグループ集計の設定がある場合に印字します。

日負荷率…グループ集計による日負荷率

日最大…グループ集計による日最大電力量

日平均…グループ集計による日平均電力

日合計…グループ集計による日合計電力量

・1時間ごとの各アナログ入力のデータを印字します。

ターミナルプリンタでの印字例

・この印字は、計測ユニットMC－８８を使用した１台の場合のものです。

電力日報

電　力　日　報

９７年　８月　３１日　日曜日　天気（　　）

時　刻	受　電 kWh	無　効 kvarh	ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ kW	ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ kW	A-01 V	A-02 A	A-03 kW	A-04 %	A-05 Hz	A-06 ℃	A-07 A	A-08 A	P-01 kWh	P-02 kWh	P-03 kWh	P-04 kWh	P-05 kWh	P-06 kWh	P-07 kWh	P-08 kWh
01:00	01	12	0	63	6792	452	2264	+74.6	52.5	-75.4	226	226	18	18	18	18	18	18	18	18
02:00	70	9	77	63	6783	452	2261	+74.5	52.5	-75.4	226	226	21	21	21	21	21	21	21	21
03:00	74	9	56	91	6783	452	2261	+74.6	52.5	-75.4	225	226	26	26	26	26	26	26	26	26
04:00	52	7	56	49	6783	452	2261	+74.5	52.5	-75.4	225	226	9	9	9	9	9	9	9	9
05:00	102	13	56	147	6792	452	2264	+74.5	52.5	-75.4	225	226	32	32	32	32	32	32	32	32
06:00	66	8	56	77	6783	452	2261	+74.6	52.5	-75.5	225	226	6	6	6	6	6	6	6	6
07:00	74	10	77	70	6783	452	2261	+74.5	52.5	-75.5	225	226	26	26	26	26	26	26	26	26
08:00	73	9	42	105	6792	452	2264	+74.6	52.5	-75.5	225	226	23	23	23	23	23	23	23	23
09:00	84	11	105	63	6783	452	2261	+74.5	52.5	-75.5	225	226	47	47	47	47	47	47	47	47
10:00	56	7	49	63	6783	452	2264	+74.6	52.5	-75.5	225	226	37	37	37	37	37	37	37	37
11:00	84	11	63	105	6783	452	2261	+74.6	52.5	-75.4	226	226	53	53	53	53	53	53	53	53
12:00	60	8	56	63	6783	452	2264	+74.6	52.5	-75.4	225	226	41	41	41	41	41	41	41	41
13:00	98	12	77	119	6792	452	2264	+74.6	52.5	-75.4	226	226	47	47	47	47	47	47	47	47
14:00	122	16	91	154	6792	452	2261	+74.5	52.5	-75.4	226	226	53	53	53	53	53	53	53	53
15:00	81	10	105	56	6783	452	2261	+74.6	52.5	-75.4	226	226	53	53	53	53	53	53	53	52
16:00	66	9	63	70	6792	452	2264	+74.6	52.5	-75.5	226	226	36	36	36	36	36	36	36	37
17:00	102	13	49	154	6792	452	2264	+74.6	52.5	-75.4	226	226	20	19	19	19	19	19	19	19
18:00	63	8	63	63	6792	452	2261	+74.5	52.5	-75.4	226	226	45	46	45	45	45	45	45	45
19:00	59	8	56	63	6783	452	2264	+74.6	52.5	-75.4	226	226	33	33	33	33	33	33	33	33
20:00	53	7	70	35	6792	452	2264	+74.6	52.5	-75.5	226	226	29	29	29	29	29	29	29	29
21:00	59	7	63	56	6792	452	2261	+74.5	52.5	-75.5	226	226	26	26	26	26	26	26	26	26
22:00	80	8	70	49	6783	452	2261	+74.6	52.5	-75.5	226	226	44	44	44	44	44	44	44	44
23:00	77	10	91	63	6792	452	2264	+74.6	52.5	-75.4	226	226	32	32	32	32	32	32	32	32
24:00	224	29	49	399	6792	452	2264	+74.6	52.5	-75.4	226	225	33	33	33	33	33	33	33	33

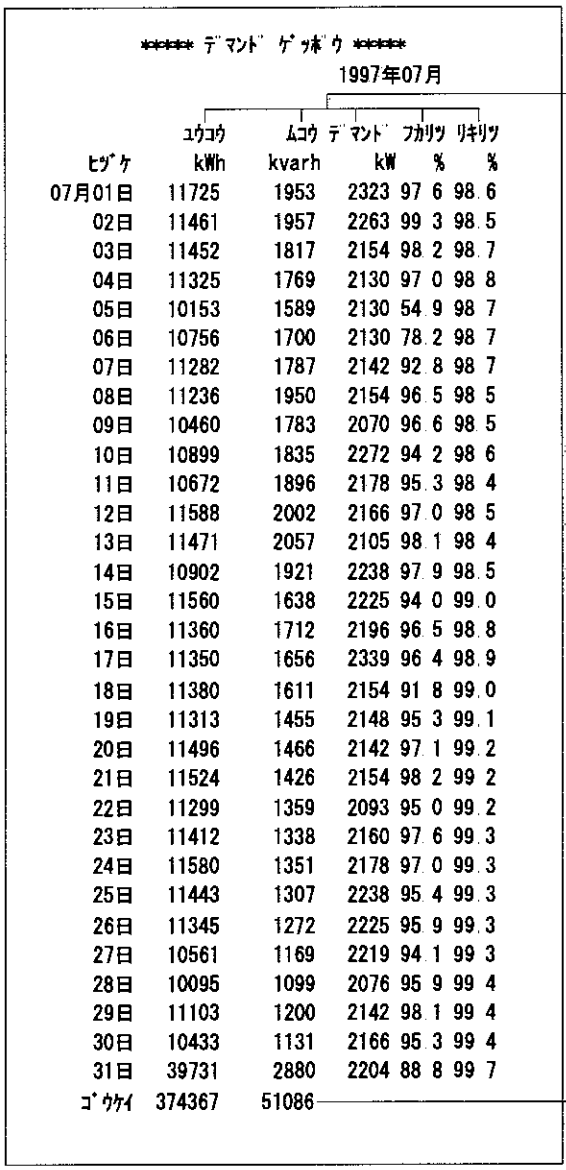
	受　電 kWh	無　効 kvarh	P-01 kWh	P-02 kWh	P-03 kWh	P-04 kWh	P-05 kWh	P-06 kWh	P-07 kWh	P-08 kWh	GROUP1	GROUP2	GROUP3	GROUP4	GROUP5
日合計電力量	1950	251	790	790	790	790	790	790	790	790	1580	2370	2370	0	0
日最大電力量	122		53	53	53	53	53	53	53	53	106	159	159	0	0
日平均電力	74	9	40	40	40	40	40	40	40	40	80	120	120	0	0
月負荷率（%）	60.8		75.5	75.5	75.5	75.5	75.5	75.5	75.5	75.5	75.5	75.5	75.5	0.0	0.0
日平均力率（%）	99.1														
月累計電力量	12502	1508	3284	3330	3319	3332	3254	3309	3357	3379	6614	9905	10045	0	0
月最大電力量	122		53	53	53	53	53	53	53	53	106	159	159	0	0
月平均電力	41	5	25	25	26	26	24	25	26	27	51	76	79	0	0
月負荷率（%）	33.5		47.2	47.2	49.1	49.1	45.3	47.2	49.1	50.9	48.1	47.8	49.7	0.0	0.0
月平均力率（%）	99.1														
年夜間率（%）	53.5														

日最大ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	399kW	'97 09/01	00:00
月最大ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	1813kW	'97 06/06	00:25
年最大ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	2339kW	97 07/17	02:30

		P	OP	N	SOP	EX1	EX2	EX3	EX4	EX5	EX6
日合計電力量	kWh	0	0	1046	0	0	0	903	0	0	0
日最大デマンド	kW	0	0	154	0	0	0	399	0	0	0
日平均電力	kW	0	0	74	0	0	0	90	0	0	0
月合計電力量	kWh	147	0	7248	536	0	0	4571	0	0	0
月最大デマンド	kW	70	0	1813	70	0	0	700	0	0	0
月平均電力	kW	24	0	116	24	0	0	101	0	0	0

月報印字

・設定された日の日報印字の後に印字します。



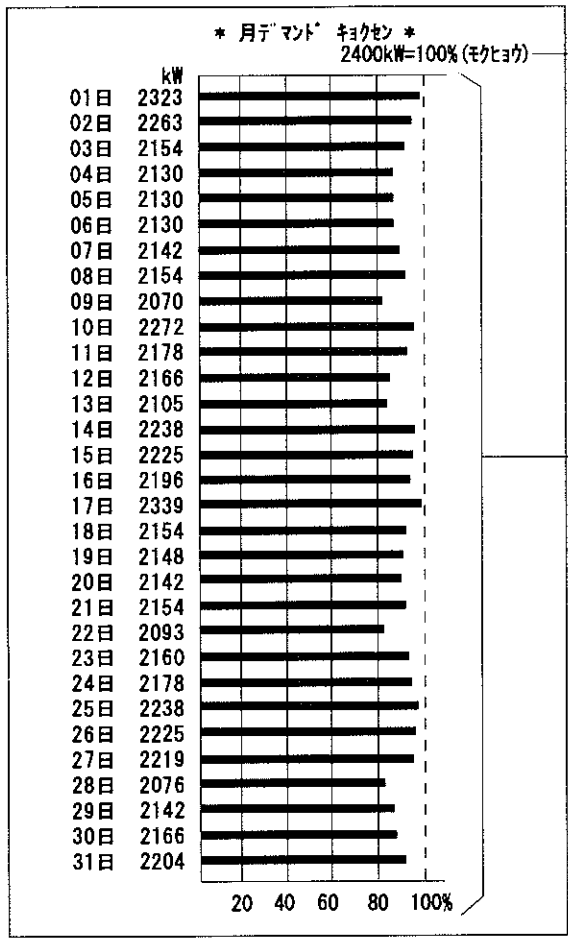
***** ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ ｹﾞｯﾎﾟｳ *****

1997年07月

ﾋﾂﾞｹ	ﾕｳｺｳ kWh	ﾑｺｳ kvarh	ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ kW	ﾌｶﾘﾂ %	ﾘｷﾘﾂ %
07月01日	11725	1953	2323	97.6	98.6
02日	11461	1957	2263	99.3	98.5
03日	11452	1817	2154	98.2	98.7
04日	11325	1769	2130	97.0	98.8
05日	10153	1589	2130	54.9	98.7
06日	10756	1700	2130	78.2	98.7
07日	11282	1787	2142	92.8	98.7
08日	11236	1950	2154	96.5	98.5
09日	10460	1783	2070	96.6	98.5
10日	10899	1835	2272	94.2	98.6
11日	10672	1896	2178	95.3	98.4
12日	11588	2002	2166	97.0	98.5
13日	11471	2057	2105	98.1	98.4
14日	10902	1921	2238	97.9	98.5
15日	11560	1638	2225	94.0	99.0
16日	11360	1712	2196	96.5	98.8
17日	11350	1656	2339	96.4	98.9
18日	11380	1611	2154	91.8	99.0
19日	11313	1455	2148	95.3	99.1
20日	11496	1466	2142	97.1	99.2
21日	11524	1426	2154	98.2	99.2
22日	11299	1359	2093	95.0	99.2
23日	11412	1338	2160	97.6	99.3
24日	11580	1351	2178	97.0	99.3
25日	11443	1307	2238	95.4	99.3
26日	11345	1272	2225	95.9	99.3
27日	10561	1169	2219	94.1	99.3
28日	10095	1099	2076	95.9	99.4
29日	11103	1200	2142	98.1	99.4
30日	10433	1131	2166	95.3	99.4
31日	39731	2880	2204	88.8	99.7
ｺﾞｳｹｲ	374367	51086			

(1) デマンド月報

・環境設定で月報“印字”の項目が設定されている場合に印字します。

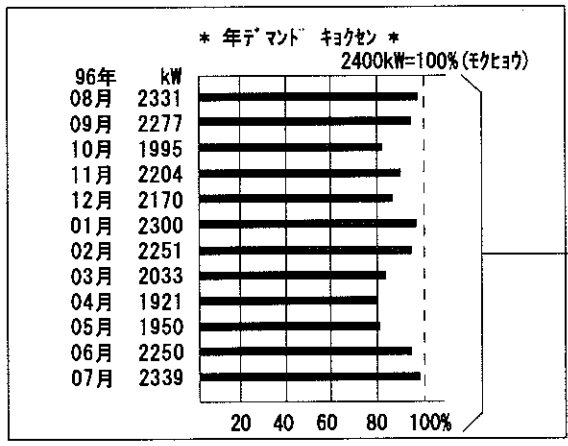


(2) 月デマンド曲線

・環境設定で月デマンド曲線“印字”の項目が設定されている場合に印字します。

・目標電力を100%として扱います。
(時間帯管理の場合、一番大きい目標電力とします。)

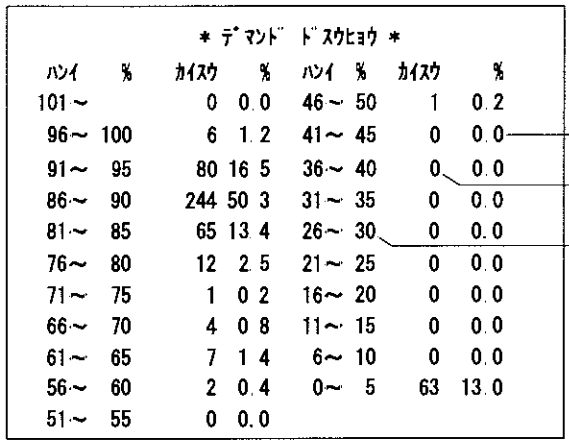
1日ごとの最大デマンド値とバーグラフ



(3) 年デマンド曲線

・環境設定で年デマンド曲線“印字”の項目が設定されている場合に印字します。

月ごとの最大デマンド値とバーグラフ



＊ ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ ﾄﾞｽｳﾋｮｳ ＊

ﾊﾝｲ	%	ｶｲｽｳ	%	ﾊﾝｲ	%	ｶｲｽｳ	%
101～		0	0.0	46～	50	1	0.2
96～	100	6	1.2	41～	45	0	0.0
91～	95	80	16.5	36～	40	0	0.0
86～	90	244	50.3	31～	35	0	0.0
81～	85	65	13.4	26～	30	0	0.0
76～	80	12	2.5	21～	25	0	0.0
71～	75	1	0.2	16～	20	0	0.0
66～	70	4	0.8	11～	15	0	0.0
61～	65	7	1.4	6～	10	0	0.0
56～	60	2	0.4	0～	5	63	13.0
51～	55	0	0.0				

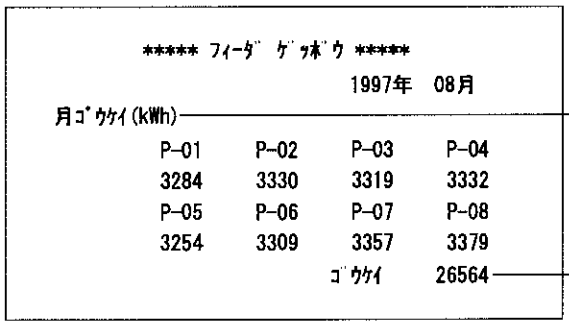
発生比率

発生回数

目標電力の度数範囲

(4) デマンド度数表

・環境設定でデマンド度数表“印字”の項目が設定されている場合に印字します。



＊＊＊＊＊ ﾌｨｰﾀﾞ ｹﾞｯﾎﾟｳ ＊＊＊＊＊

1997年　08月

ﾂｳｹｲ(kWh)

P-01	P-02	P-03	P-04
3284	3330	3319	3332
P-05	P-06	P-07	P-08
3254	3309	3357	3379

ｺﾞｳｹｲ　26564

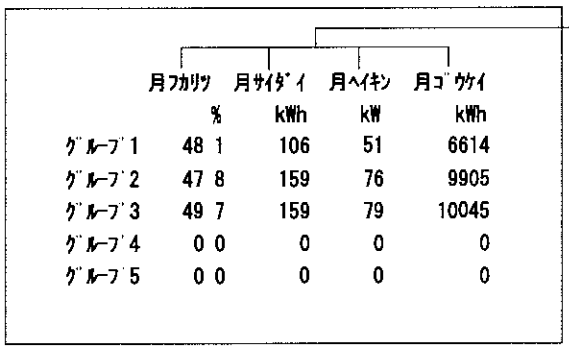
月合計　当月の各パルス入力の月合計電力量

合　計　当月の全パルス入力の月合計電力量

(5) フィーダ月報

・環境設定でフィーダ月報“印字”の項目が設定されている場合に印字します。

・この印字は計測ユニットＭＣ－８８が１台の場合です。



	月ﾌｶﾘﾂ	月ｻｲﾀﾞｲ	月ﾍｲｷﾝ	月ｺﾞｳｹｲ
	%	kWh	kW	kWh
ｸﾞﾙｰﾌﾟ1	48.1	106	51	6614
ｸﾞﾙｰﾌﾟ2	47.8	159	76	9905
ｸﾞﾙｰﾌﾟ3	49.7	159	79	10045
ｸﾞﾙｰﾌﾟ4	0.0	0	0	0
ｸﾞﾙｰﾌﾟ5	0.0	0	0	0

月負荷率　グループ集計による月負荷率

月最大　グループ集計による１日当たりの月最大電力量

月平均　グループ集計による月平均電力

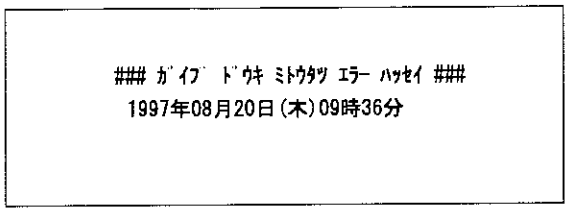
月合計　グループ集計による月合計電力量

(6) グループ集計

・計測ユニットパルス定数の設定とグループ集計の設定がある場合に印字します。

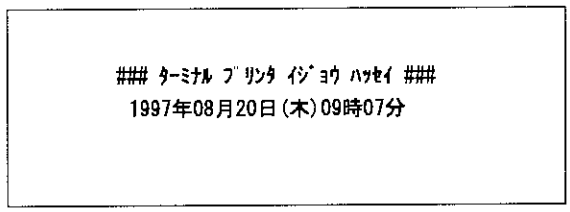
エラー印字

・エラーが発生した時に印字します。



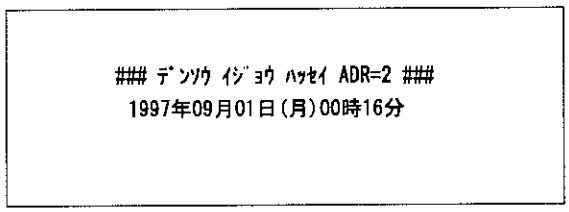
(1) 外部同期未到達エラー発生

・時限方式が外部同期の設定で、本体ＳＭ６０６がデマンド時限終了後１分過ぎても外部同期信号が、入力されない場合にエラー印字します。



(2) ターミナルプリンタ異常発生

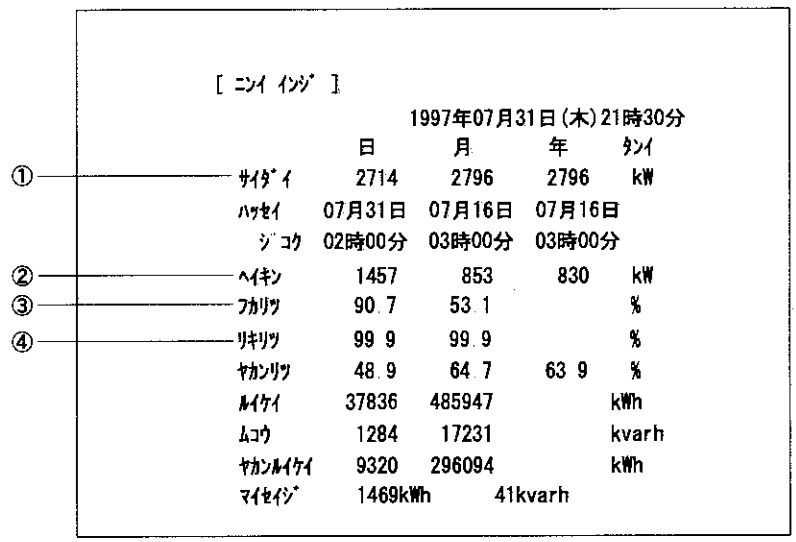
・ターミナルプリンタ処理中にターミナルプリンタが、10秒以上応答しなかった場合にエラー印字します。



(3) 伝送異常発生

・計測ユニットが５秒以上応答しなかった場合にエラー印字します。

任意印字



［ ﾆﾝｲ ｲﾝｼﾞ ］

1997年07月31日(木)21時30分

		日	月	年	ﾀﾝｲ
①	ｻｲﾀﾞｲ	2714	2796	2796	kW
	ﾊｯｾｲ ｼﾞｺｸ	07月31日 02時00分	07月16日 03時00分	07月16日 03時00分	
②	ﾍｲｷﾝ	1457	853	830	kW
③	ﾌｶﾘﾂ	90.7	53.1		%
④	ﾘｷﾘﾂ	99 9	99.9		%
	ﾔｶﾝﾘﾂ	48.9	64.7	63 9	%
	ﾙｲｹｲ	37836	485947		kWh
	ﾑｺｳ	1284	17231		kvarh
	ﾔｶﾝﾙｲｹｲ	9320	296094		kWh
	ﾏｲｾｲｼﾞ	1469kWh	41kvarh		

(1) 任意印字

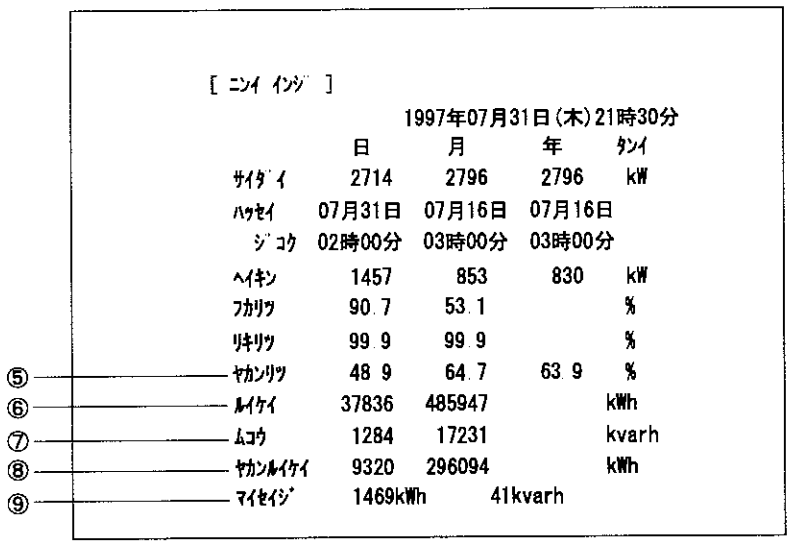
任意印字 キーを操作したときに印字します。

①
- 日 最 大 …日報出力後から現在までの最大デマンド値および発生日時
- 月 最 大 …月報出力後から現在までの最大デマンド値および発生日時
- 年 最 大 …月報出力後から現在までの最大デマンド値と、前11カ月の中の最大デマンド値の大きい方の最大デマンド値およびその発生日時

②
- 日 平 均 …日報出力後から前正時までの日平均電力
- 月 平 均 …月報出力後から前正時までの月平均電力
- 年 平 均 …集計月（年データ更新）後から前正時までの年平均電力

③
- 日負荷率…日報出力後から前正時までの日負荷率
- 月負荷率…月報出力後から前正時までの月負荷率

④
- 日 力 率 …日報出力後から前正時までの日平均力率
- 月 力 率 …月報出力後から前正時までの月平均力率



[ﾆﾝｲ ｲﾝｼﾞ]

1997年07月31日(木)21時30分

	日	月	年	ﾀﾝｲ
ｻｲﾀﾞｲ	2714	2796	2796	kW
ﾊｯｾｲ ｼﾞｺｸ	07月31日 02時00分	07月16日 03時00分	07月16日 03時00分	
ﾍｲｷﾝ	1457	853	830	kW
ﾌｶﾘﾂ	90.7	53.1		%
ﾘｷﾘﾂ	99.9	99.9		%
⑤ ﾔｶﾝﾘﾂ	48.9	64.7	63.9	%
⑥ ﾙｲｹｲ	37836	485947		kWh
⑦ ﾑｺｳ	1284	17231		kvarh
⑧ ﾔｶﾝﾙｲｹｲ	9320	296094		kWh
⑨ ﾏｲｾｲｼﾞ	1469kWh	41kvarh		

⑤
- 日夜間率…日報出力後から前正時までの日夜間率
- 月夜間率…月報出力後から前正時までの月夜間率
- 年夜間率…集計月(年データ更新)後から前正時までの年夜間率

⑥
- 日　累　計…日報出力後から現在までの日累計電力量
- 月　累　計…月報出力後から現在までの月累計電力量

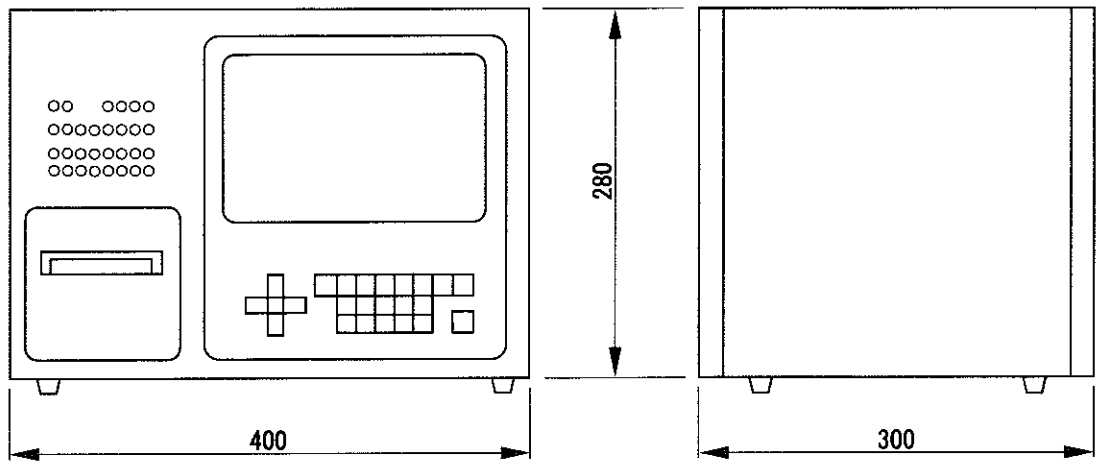
⑦
- 日　無　効…日報出力後から現在までの日累計無効電力量
- 月　無　効…月報出力後から現在までの月累計無効電力量

⑧
- 日夜間累計…日報出力後から前正時までの日夜間累計電力量
- 月夜間累計…月報出力後から前正時までの月夜間累計電力量

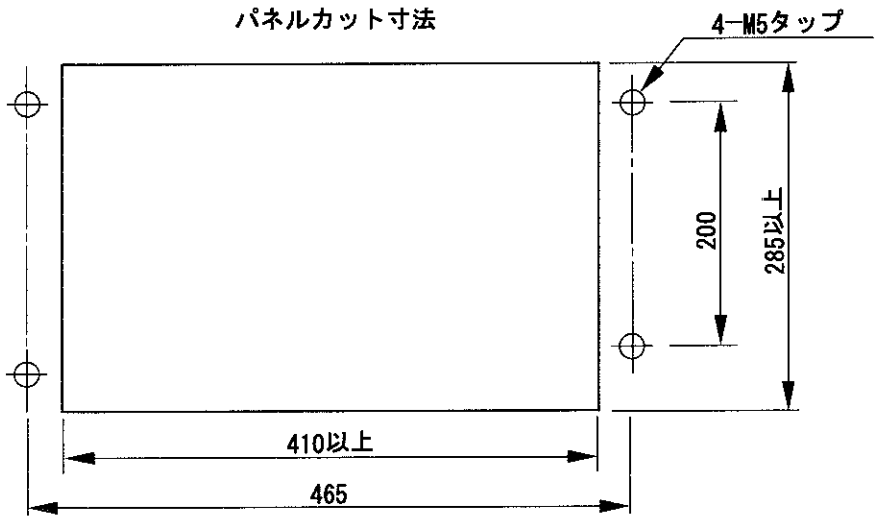
⑨
- 毎正時有効…前正時までの有効電力量
- 毎正時無効…前正時までの無効電力量

外形寸法図

（単位　mm）



パネルカット寸法



（注）角穴の縦寸法はゴム足部を含まず。
　　パネル角穴は、本体取付後隠れません。

画面表示一覧表

メインメニュー

デマンドメニュー

- P38 デマンド予測曲線
  - 前時限デマンド曲線
  - 日最大デマンド曲線
  - 月最大デマンド曲線
  - 年最大デマンド曲線
  - 前年最大デマンド曲線
- P38 拡大デマンド予測曲線
- P39 デマンド監視
  - 時間帯別デマンド
  - 前日時間帯別デマンド
- P39 警報・負荷状態
- P39 負荷制御実績
- P40 デマンド制御実績
- P40 ５分デマンドトレンド曲線（取引用）
  - 次頁：5分デマンドトレンド曲線（パルス１）
    - 前頁：5分デマンドトレンド曲線（取引用）
    - 次頁：5分デマンドトレンド曲線（パルス２）
      - 前頁：5分デマンドトレンド曲線（パルス１）
      - 次頁：5分デマンドトレンド曲線（パルス３）
        - 前頁：5分デマンドトレンド曲線（パルス２）
        - 次頁：5分デマンドトレンド曲線（パルス４）
  - 前頁：5分デマンドトレンド曲線（パルス４）
    - 前頁：5分デマンドトレンド曲線（パルス１）
    - 次頁：5分デマンドトレンド曲線（パルス３）
  - 前日：前日５分デマンドトレンド曲線（取引用）
    - 次頁：前日５分デマンドトレンド曲線（パルス１）
      - 前頁：前日５分デマンドトレンド曲線（取引用）
      - 次頁：前日５分デマンドトレンド曲線（パルス２）
        - 前頁：前日５分デマンドトレンド曲線（パルス１）
        - 次頁：前日５分デマンドトレンド曲線（パルス３）
          - 前頁：前日５分デマンドトレンド曲線（パルス２）
          - 次頁：前日５分デマンドトレンド曲線（パルス４）
    - 前頁：前日５分デマンドトレンド曲線（パルス４）
      - 前頁：前日５分デマンドトレンド曲線（パルス１）
      - 次頁：前日５分デマンドトレンド曲線（パルス３）

- **P41 日負荷曲線**
  - 数字表示
  - 前日日負荷曲線
    - 数字表示
  - 月最大日負荷曲線
    - 数字表示
  - 年最大日負荷曲線
    - 数字表示
  - 前年最大日負荷曲線
    - 数字表示
- **P41 月デマンド曲線**
  - 数字表示
  - 前月デマンド曲線
    - 数字表示
- **P42 年デマンド曲線**
  - 数字表示
  - 前年デマンド曲線
    - 数字表示
- **P42 月デマンド度数曲線**
  - 数字表示
  - 前月デマンド度数曲線
    - 数字表示
- **P43 年デマンド度数曲線**
  - 数字表示
  - 前年デマンド度数曲線
    - 数字表示
- **P43 各月最大時データ**
  - 月最大日負荷曲線（当月～前年同月）
    - 数字表示
  - 月最大デマンド曲線（当月～前年同月）
- **P44 デマンドデータ拡大表示**

データ管理メニュー

- **P45 受電日報**
  - 受電日報（現在状況）
    - (1/2) … 前日報出力後から１２時間分
    - (2/2) … 前日報出力後１３時間目から日報出力時まで
  - 前受電日報（前月～１０カ月前）
    - (1/2) … 前々日報出力後から１２時間分
    - (2/2) … 前々日報出力後１３時間目から前日報出力時まで
    - データ印字
- **P45 受電月報**
  - 受電月報
    - (1/2) … 前月報出力日の翌日から１５日分
    - (2/2) … 前月報出力日の１６日目から月報出力日まで
  - 前受電月報
    - (1/2) … 前々月報出力日の翌日から１５日分
    - (2/2) … 前々月報出力日の１６日目から前月報出力日まで
    - データ印字
- **P46 フィーダ日報**
  - フィーダ日報アナログデータ
  - フィーダ日報パルスデータ
  - 前フィーダ日報アナログデータ
  - 前フィーダ日報パルスデータ
- **P46 フィーダ月報**
  - 前月フィーダ月報
- **P47 フィーダ任意**
- **P47 月夜間率**
  - 前月夜間率
- **P48 年夜間率**
  - 前年夜間率
- **P48 月時間帯別集計**
  - (1/3) … 前月報出力日の翌日から１０日分
  - (2/3) … 前月報出力日の１１日後から１０日分
  - (3/3) … 前月報出力日の２１日後から月報出力日まで
  - 前月時間帯別集計
    - (1/3) … 前々月報出力日の翌日から１０日分
    - (2/3) … 前々月報出力日の１１日後から１０日分
    - (3/3) … 前々月報出力日の２１日後から前月報出力日まで
- **P49 年時間帯別集計**
  - (1/4) … 前集計月の翌月から３カ月分
  - (2/4) … 前集計月の４カ月後から３カ月分
  - (3/4) … 前集計月の７カ月後から３カ月分
  - (4/4) … 前集計月の１０カ月後から集計月まで
- **P49 電力量パルス入力**

設定一覧表

基本メニュー

- 設定メニュー
  - **P14 基本設定**
    - P14 時限方式
    - P14 パルス重み
    - P14 デマンド合成
    - P15 無効電力量
    - P15 目標電力
    - P15 日報出力時間
    - P15 月報出力日
    - P15 データ印字
  - **P16 時限設定**
    - P16 デマンド時限
    - P16 サンプリング時間
    - P16 時計同期方式
    - P16 停電時時限
    - P16 平均力率算定時間
    - P17 負荷率算定時間
    - P17 データ印字
  - **P17 制御定数設定（制御定数設定１）**
    - P17 初期電力
    - P17 高負荷容量
    - P17 限界電力
    - P18 遮断電力
    - P18 復帰電力
    - P18 警報ロック時間
    - P18 複数負荷遮断時間
    - P18 遮断負荷容量
    - P18 データ印字
    - P19 制御定数設定２
      - P19 最小負荷遮断時間
      - P19 遮断方式
      - P19 遮断順位
      - P20 データ印字
  - **P20 目標値切替設定**
    - P20 目標値切替
    - P20 目標電力乗率
    - P20 各月最大デマンド設定
    - P21 データ印字

- **P21 時間帯設定（時間帯設定１）**
  - P21 時間帯別管理指定
  - P21 時限同期
  - P21 時間帯別目標電力
  - P22 データ印字
  - P22 時間帯設定２
    - P22 パターンＮｏ.
    - P22 時間帯Ｎｏ
    - P22 時刻
    - P23 データ印字
  - P23 時間帯設定３
    - P23 設定月
    - P23 時間帯パターン
    - P23 データ印字
- **P24 年夜間率設定**
  - P24 年夜間率管理指定
  - P24 時間帯
  - P24 集計月
  - P24 データ印字
- **P25 スケジュール設定（スケジュール設定１）**
  - P25 スケジュール管理指定
  - P25 運転パターン
  - P25 データ印字
  - P26 スケジュール設定２
    - P26 週間スケジュール
    - P26 データ印字
- **P27 時限パルス設定**
  - P27 使用指定
  - P27 時限同期遅延時間
  - P27 ＯＮ出力時間
  - P27 出力時間帯
  - P27 データ印字
- **P28 時計設定**

- **P28 環境設定**
  - P28 ＳＭ６０６のアドレス
  - P28 負荷制御
  - P28 警報ブザー
  - P28 ファジィ予測演算
  - P28 瞬時電力表示
  - P29 デマンド端数処理
  - P29 ホスト伝送速度
  - P29 ホスト伝送データ
  - P29 ホスト伝送パリティ
  - P29 遠隔表示器
  - P29 計測ユニット
  - P29 ジャーナルプリンタ
  - P29 ターミナルプリンタ
  - P30 ハードコピープリンタ
  - P30 日変わり印字
  - P30 デマンド印字時間
  - P30 負荷遮断印字時間
  - P30 電力日報の捺印枠
  - P30 電力量パルス入力
  - P30 日報
  - P31 月報
  - P31 フィーダ日報
  - P31 フィーダ月報
  - P31 日負荷曲線
  - P31 月デマンド曲線
  - P31 年デマンド曲線
  - P31 デマンド度数表
  - P31 平均力率表示
  - P32 負荷率表示
  - P32 画面表示時間
  - P32 データ印字
- **P32 計測ユニットアナログ定数設定**
  - P32 定数Ａ（トランスデューサの下位値に対する一次換算値）
  - P32 定数Ｂ（トランスデューサの上位値に対する一次換算値）
  - P33 単位
  - P33 データ印字
- **P34 計測ユニットパルス定数設定**
  - P34 パルス重み
  - P34 グループ
  - P34 集計（方法）
  - P34 データ印字
- **P35 デマンドスタート**

お願い

●記載内容は設計変更その他の理由により、ご連絡申しあげることなく変更させていただくことがありますので、
お手数でございますが、お引合いの際は当社（代理店）販売担当者にご確認くださるようお願い申し上げます。

●本製品をご使用の際には、必ず添付の取扱説明書をお読みください。

●この取扱説明書は、お買い上げ時に製品本体に付属しているもの以外は有償となりますので、あらかじめ
ご了承ください。（頒布価格2,000円）

平成13年9月作成　　P 010915 H K A 3 X